

## 国語（調査報告書）

### 1. 目標・内容の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全単元において「言葉の力」を単元冒頭と単元末に示しており、身につけた力を他教科の学習や日常生活に生かせるように記載されていて、適切である。</li> <li>○単元の冒頭に、「見通す」「学習の流れ」などの項目があり、児童が学習の流れをつかみやすく、優れている。</li> <li>○巻末に、「学習で使う言葉」や「言葉の広場」を示しており、用語や語彙を広げる手立てとなっている。</li> <li>○国語科で学習した内容を他教科（生活科、理科、社会科、総合的な学習の時間など）で生かせるような内容になっている。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の冒頭に「話す・聞く」「書く」「読む」のアイコンがあり、単元において学習する内容や目標が見てわかりやすい。</li> <li>○児童が学習の見通しをもちやすいように、「たしかめよう」「くわしくよもう」「かんがえよう」「つたえあおう」と項目ごとに学習のポイントがまとめられていて、わかりやすい。</li> <li>○3年上巻より、目次の次のページに「SDGs」に関連する単元にロゴマークが書いてあり、児童への意識づけにつながるのではないかと考えられる。</li> <li>○国語科で学習した内容を他教科（生活科、理科、社会科、総合的な学習の時間など）で生かせるような内容になっている。</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の冒頭に「話す・聞く」「書く」「読む」のアイコンがあり、単元において学習する内容や目標が見てわかりやすい。</li> <li>○児童が学習の見通しをもちやすいように、「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」と項目ごとに学習のポイントがまとめられていて、わかりやすい。</li> <li>○国語科で学習した内容を他教科（生活科、理科、社会科、総合的な学習の時間など）で生かせるような内容になっている。</li> </ul>

### 2. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点において配慮されており、適切である。</li> <li>○すべての児童にとって使いやすく、わかりやすいよう、文字の大きさやフォント、ページのレイアウトや図の配色などが配慮されていて、適切である。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点において配慮されており、適切である。</li> </ul>

	○すべての児童にとって使いやすく、わかりやすいよう、文字の大きさやフォント、ページのレイアウトや図の配色などが配慮されていて、適切である。
光村	○文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点において配慮されており、適切である。 ○すべての児童にとって使いやすく、わかりやすいよう、文字の大きさやフォント、ページのレイアウトや図の配色などが配慮されていて、適切である。 ○小書きの文字は、ユニバーサルデザインの視点から見やすさや読みやすさが配慮されている。

### 3. 発達段階への配慮

発行者	調査事項
東書	○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階に応じたものとなっており、工夫されている。 ○児童にとって、興味や関心のある題材や、昔からある読み物教材があり、適切な記述や分量となっている。
教出	○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階に応じたものとなっており、工夫されている。 ○児童にとって、興味や関心のある題材や、昔からある読み物教材があり、適切な記述や分量となっている。
光村	○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階に応じたものとなっており、工夫されている印象を受ける。 ○国語の学習をより構造的、系統的に高めていこうとする工夫や、発達段階を考慮して教材を配列している。

### 4. 組織・配列

発行者	調査事項
東書	○表紙の裏や四季ごとに詩を掲載しており、詩に親しみやすい。
教出	○目次の次に「この本で学ぶこと」として、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の目次があり、単元のつながりが整理されている。
光村	○ページ順の目次とは別に、「話す・聞く、書く、読む」の目次があり、単元のつながりを意識することができる。

### 5. 学び方の工夫

発行者	調査事項
東書	○3年生から巻頭に「デジタルノートの作り方」が掲載され、国語科でのICT機器活用につながる。

教出	○物語文や説明文の冒頭には、単元のめあてが書いてあり、文章のあとには見通しをもって学習を進められるに手引きが示されている。
光村	○四季ごとに「きせつの言葉」を掲載し、生活の中でその季節らしさを意識して学習することができる。 ○物語文や説明文の冒頭には、単元のめあてが示されており、文章のあとには「見通しをもとう」「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」があり、見通しをもって学習を進められる配慮がなされている。

## 6. 補充的な学習・発展的な学習

発行者	調査事項
東書	○他教科との合科的・関連的な指導、地域との連携が図れる教材や題材を積極的に取り上げている。 ○国語科で身につけた資質・能力が他教科等の学習に生かせるよう、各単元の「ふり返る」段階において、「言葉の力」の活用を促す「生かそう」を設けている。
教出	○「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材を中心に、他教科の学習に合わせて柔軟な扱いが可能となるよう配慮し、他教科での言語活動を通して、実生活で生きてはたらく言葉の力を育むことができるようになっている。 ○「まなびリンク」という教科書に掲載された二次元コードをタブレット端末等で読み取ることにより、教材について関連する情報を得ることができ、児童の学びを広げることにつながっていく。
光村	○絵や写真から読み取ったことをもとに考え、話し合う学習が行えるよう配慮している。 ○教科書の随所に発達段階において、多様な本が紹介されており、幅広い分野に関する知識や教養を豊かにできるように配慮されている。

## 書写（調査報告書）

### 1. 目標・内容の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	<p>○書写学習の基礎・基本的な事項を確実に習得できるよう、学年の発達段階に応じて系統的に単元を配列し、学習しやすいよう工夫されている。</p> <p>○単元名に指導事項を端的に示すことで、学習のねらいを明確化・焦点化し、単元ごとに「書写のかぎ」という項目を置いている。</p>
教出	<p>○書写における「主体的・対話的で深い学び」を進めることができるよう、そのきっかけとなる「学習の動機づけ」「目次」「学習の進め方」を丁寧に示している。</p>
光村	<p>○学習の流れについて、ページの下の部分や写真を活用して示しており、児童にとってわかりやすい。</p> <p>○毛筆で学習したことを硬筆においても生かす意識を高めることができるよう、ページ下部に硬筆欄を設置している。</p>

### 2. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	<p>○文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点において配慮されており、適切である。</p> <p>○すべての児童にとって使いやすく、わかりやすいよう、文字の大きさやフォント、ページのレイアウトや図の配色などが配慮されていて、適切である。</p>
教出	<p>○文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点において配慮されており、適切である。</p> <p>○すべての児童にとって使いやすく、わかりやすいよう、文字の大きさやフォント、ページのレイアウトや図の配色などが配慮されていて、適切である。</p>
光村	<p>○文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点において配慮されており、適切である。</p> <p>○すべての児童にとって使いやすく、わかりやすいよう、文字の大きさやフォント、ページのレイアウトや図の配色などが配慮されていて、適切である。</p>

### 3. 発達段階への配慮

発 行 者	調 査 事 項
東書	<p>○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階に応じたものとなっており、工夫されている。</p>
教出	<p>○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階に応じたものとなっており、工夫されている。</p>

光村	○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階に応じたものとなっており、工夫されている。
----	---

#### 4. 組織・配列

発行者	調査事項
東書	○学習指導要領の書写に関する事項をもれなく指導し、ねらいを達成できるよう、単元を組織・配列している。
教出	○姿勢や筆使い、字形の整え方等、書写学習の基礎・基本が確実に身につくように工夫されている。 ○毛筆で学んだことが硬筆での学習につながるように組織し、学習した内容が日常の学習につながるように工夫されている。
光村	○各教材において、①導入（目標の確認）→②理解（文字の原理・原則）→③確認（毛筆や硬筆で書いて確認する）→④活用（習得した技能を他の文字に活用する）→⑤振り返り（学習内容の確認）という展開で統一して組織され、展開がわかりやすい。

#### 5. 学び方の工夫

発行者	調査事項
東書	○豊富なQRコンテンツが用意されており、授業の導入で活用することで児童の意識を高めることにつながる。また、毛筆においては、運筆の様子を繰り返し確認でき、児童へ直接指導する時間を確保しやすくなっている。
教出	○指でなぞり書きできる教材文字を多く掲載し、運筆の能力向上につながる工夫がなされている。 ○「知りたい 文字の世界」のページを設け、文字に対する興味をもち、多様な文字の文化に関心をもてるよう工夫されている。
光村	○「水書用紙」を1・2年に収録し、筆使いを繰り返し体感することができる工夫されている。 ○姿勢や筆記具の持ち方が定着するよう、「書写体操」と「整理体操」を掲載し、絵や動画を見ながら取り組むことができるようになっている。

#### 6. 補足的な学習・発展的な学習

発行者	調査事項
東書	○「生活に広げよう」などにおいて、絵日記や生活作文など、国語と連動させた言語活動を取り上げ、生活に活用できる書写力を育成するようにしている。 ○日常生活の中では横書きが多き現状を考慮し、他教科の学習や生活の中で使う例として、横書きの教材を取り入れている。

<p>教出</p>	<p>○メモをとったり、レポートをまとめたり、ポスターを描いたりなど、他教科の学習活動のなかで、書写で学習した内容を生かした指導計画を立てやすいように工夫されている。</p>
<p>光村</p>	<p>○他教科との関連教材「書写を広げたい」を豊富に位置づけ、教科横断的な学習が充実するよう配慮されている。</p> <p>○4年に「SDGsブック」を設けるなど、教科書全体を通して、SDGsの達成に向けた工夫がされている。</p>

## 社会（調査報告書）

### 1. 目標・内容の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年生の「はたらく人とわたしたちの暮らし」の導入で、見開き2ページ使って、たくさんの仕事に従事している方々の写真を紹介している。働いている様子とともに紹介されていてリアルである。</li> <li>○3年生の「工場の仕事」で明太子がどのように作られるのかを扱っている。児童に興味を持たせるものとなっている。</li> <li>○3年生の「農家の仕事」でいちご「あまおう」を扱っており、児童に興味を持たせるものとなっている。</li> <li>○4年生の「ゴミの処理と利用」では「地域のごみ分別表」が大きく取り扱っており、自分の地域でのごみの流れを考えるきっかけになるようにできている。</li> <li>○6年生の「日本とつながりの深い国々」では、フランス・ブラジルが加わるなど、国際理解を深められる内容となっている。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年生の「土地の高い所と低い所コースをたんけん」など、校区たんけん・絵地図づくりの学習方法への手引きとなっている。3次元の世界を2次元に移しかえる学習であり、大切な内容である（P14～21）。</li> <li>○3年生の「工場ではたらく人と仕事」でシューマイがどのように作られるのかを扱っていたり、「農家の仕事」で小松菜を扱っていたりしており、話題が身近で子どもに興味を持たせるものとなっている。</li> <li>○4年生の「ごみはどこへ」では、導入が「家庭で出るごみ調べ」から始まっており、身近なところから学習をスタートできるようになっている。</li> <li>○5年生の様々な地形の様子の説明が、地形の名前と説明がリンクしていてわかりやすい。</li> <li>○6年生の政治の導入がパラリンピックとなっており、非常にわかりやすい。</li> </ul>
日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年生の「学校のまわり」で、校区たんけん・絵地図づくりの学習方法への手引きとなっている。3次元の世界を2次元に移しかえる学習であり、大切な内容である（P16～21）。</li> <li>○4年生の「ゴミの処理と活用」では海岸に打ち上げられたごみの写真やゴミに絡まり身動きが取れなくなったウミガメの写真があり、学習の最後に環境について考えられるよう工夫されている。</li> <li>○6年生の「災害復興の政治」において、唯一東日本大震災ではなく西日本豪雨を取り扱っており、話題が身近で子どもに興味を持たせるものとなっている。</li> <li>○6年生の歴史の導入が大阪府堺市の古墳を用いており、身近でわかりやすい。</li> </ul>

## 2. 人権の取扱い

発行者	調査事項
東書	<p>○3年生の「店ではたらく人」で店（スーパーマーケット）のイラストがあり、鮮明な色彩で、視覚からの情報を得やすい。</p> <p>○4年生の「国際交流に取り組むまち・仙台市」では外国人住民が安心して生活できる町の取り組みについて取り扱われており、共生していくための具体的活動がわかりやすく紹介されている。</p>
教出	<p>○3年生の「はたらく人とわたしたちの暮らし」の導入で、見開き2ページ使って、9種の仕事に従事している方々の顔写真を紹介している。ほぼ男女同数にし、共生の視点に立っている（P46～47）。</p> <p>○4年生の「国際交流がさかんなまちづくり」では、特に近隣諸国（中国・韓国）との交流に焦点を当て、互いの国について知り合い、共生していくための取り組みが取り扱われている。</p> <p>○6年生において非核三原則の記述が、本文に記載されている。</p>
日文	<p>○3年生の「店ではたらく人びとの仕事」で店（スーパーマーケット）のイラストがあり、落ち着いた色彩で、視覚からの情報を得やすい。</p> <p>○「世界とつながる地域」では観光客が多い岡山県倉敷市が紹介されており、留学生と地域とのつながりや倉敷市で働く外国人の活躍を紹介することにより、互いの文化を大切にしようとすることの重要性に気付くように作られている。</p> <p>○6年生において、沖縄戦を見開き1ページを使い、詳しく記載されている。</p>

## 3. 発達段階への配慮

発行者	調査事項
東書	<p>○児童の特性として、身のまわりは理解しやすい。はじめに「私たちのお気に入りの場所」から入るのは適切である。</p> <p>○児童の発達段階に応じた分量とわかりやすい表現で記述がされている。吹き出しを使った問題提起や「ことば」による補足説明は児童の学習意欲を高め、より深い学びにつながる工夫がなされている。</p> <p>○3年生で学習した町の学習から、4年生では都道府県の学習に入っており、「くらしを守る」が「住みよい暮らしを作る」へ、「はたらくひととわたしたちの暮らし」が「自然災害からくらしを守る」と関連付けながら学習を進められるよう工夫されている。</p> <p>○上・下、政治国際・歴史に分けることによって、子どもの持ち物の重さの負担を軽減している。</p>
教出	<p>○児童の特性として、身のまわりは理解しやすい。はじめに身近な「自分の家やよく行く場所はどこにあるの」からは入るのは適切である。また、体験的な活動や生活体験とつなげる考え方が重視されている。</p>



	<p>○3年生の「わたしたちの市の歩み」、「かわる道具とくらし」を10ページほどで取り上げている。写真・イラスト・年表でくらしが移り変わってきたことが子どもにとって理解しやすいものとなっている。</p>
<p>日文</p>	<p>○学校の高い所から四方位の写真を配列しており、子どもの興味を引く内容となっている（P16～17）。</p> <p>○3年生の「市のようすとくらしのうつりかわり」、導入で違いがよくわかる写真を大きく取り上げている。そしてあんどん・石油ランプ・電灯の写真をならべているのも、児童にわかりやすいものとなっている。</p> <p>○児童が自ら見つけ出した問題を解決するために、調べ学習などの具体的な学習活動を通して、理解を深め、追及し、気づくとともに、調べたことや考えたことを表現していく問題解決的な学習の過程がわかりやすく配列されている。また、各学年の単元構成は、前期と後期にも配分しやすく配列されている。</p>

#### 4. 組織・配列

発行者	調査事項
<p>東書</p>	<p>○3年生の「まちの様子」では、はじめに学校のまわりを取り上げ、次に市全体へと順序よく展開している。</p> <p>○各単元に置いて、学習段階「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」が明示されている。見通しをもって学習課題に向かう一連の流れをつかみ、問題解決的な学習の展開を促す内容になっている。</p> <p>○5年生において、地形→高い土地・低い土地、気候→暖かい地域・寒い地域と分けて記載している。</p>
<p>教出</p>	<p>○3年生の「まちの様子」では、始めに学校のまわりを取り上げ、次に市全体へと順序よく展開している。「はたらく人とわたしたちのくらし」で「店ではたらく人と仕事」を第1節に配列しており、適切である。</p> <p>○各単元に置いて、学習段階「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」が明示されている。見通しをもって主体的に学習を進められる内容になっている。「次につなげよう」で単元を通じた追及の連続や思考の深まりを促している。</p> <p>○5年生において、暖かい土地→高地→寒い土地→低地という配列となっており扱いやすい。</p>
<p>日文</p>	<p>○児童の主体的な問題解決を図る構成となっている。「学び方・調べ方コーナー」で単元における学習の進め方が提示されており、単元末には振り返りで学習内容を確認させる構成になっている。</p> <p>○5年生において、暖かい土地→低地→寒い土地→高地の順番で配列されており扱いやすい。</p>

## 5. 学び方の工夫

発 行 者	調 査 事 項
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「店ではたらく人」で店（スーパーマーケット）のイラストがある。児童（消費者）の視点とバックヤードでどのような仕事が行われているのかがよくわかる。</li> <li>○「火事から暮らしを守る」で「火事が起きたら」、多くの機関が連携して町の安全に努めていることがわかりやすい。</li> <li>○図や写真が大きく示されており、学習の視点を持たせる工夫がされている。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学びのてびき」で、両手を広げた児童のイラストを使って、四方位を理解させようとしている工夫がある。</li> <li>○「自分の家やよく行く場所をさがそう」で問い「学校の屋上に上ると、どのようなふうけいが見えるだろう。」とあり、写真を使って方位を理解させようとしている（P 12～13）。</li> <li>○「学びのてびき」で「市の広がりや、白地図をつくってたしかめる」があり、児童の興味を喚起している。</li> <li>○「工場ではたらく人と仕事」で、どのようにして人と機械によって、人間に有用なものが作られているのかがよくわかる写真となっている。</li> <li>○3年生の「火事から町を守る」の「119番のしくみ」は、多くの機関が連携して町の安全に努めていることが分かりやすい。また、「学校の消火せつびを調べよう」を取り上げており、学校の安全を守るしくみが理解しやすい。</li> <li>○見開きを単位とした紙面を、本文と資料を明確に区分するなど、整理・パターン化されている。</li> </ul>
日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学び方・調べ方コーナー」で、両手を広げた子どものイラストを使って、四方位を理解させようとしている工夫がある。</li> <li>○「店ではたらく人びとの仕事」で店（スーパーマーケット）のイラストがある。児童（消費者）の視点とバックヤードでどのような仕事が行われているのかがよくわかる。</li> <li>○本文に対応して、児童が書いた「見学メモ」、「〇〇さんのノート」、「〇〇さんがまとめたワークシート」など、調べ方や調べたことの整理の仕方などが例示されており、理解しやすい。</li> <li>○教科書のQRコードからNHK for schoolにつながるよう設定されており、学習に活用することができる。</li> <li>○随所にノートのまとめ方や、思考ツールの説明があり、児童の学習に役立つ。</li> </ul>

## 6. 補足的な学習・発展的な学習

発 行 者	調 査 事 項
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ひろげる」で、「いろいろな地図記号」が、記号のもとになったものの写真を載せている。補足的な学習として適切である。</li> <li>○「暮らしをささえる電気」では再生可能エネルギーに焦点を当て、未来のエネルギー使用を考えるきっかけとなっている。</li> </ul>

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「もっと知りたい」で「まちの昔と今を地図でくらべる」があり、児童の興味がある都市、東京の高層ビル群の今と昔のちがいを地図と写真で鮮やかに表現している。地図への関心を高める、発展的な学習となっている。</li> <li>○3年生「はたらく人とわたしたちの暮らし」の導入で、見開き2ページ使って、9種の仕事に従事している方々の顔写真を紹介しており、イメージがわかりやすい。</li> <li>○「もっと知りたい」の「地図記号ってなんだろう」では、記号のもとになったもののイラストを載せている。補充的な学習として適切である。</li> <li>○「自然災害にそなえるまちづくり」では、公助・共助・自助について考えることを通して、防災に向けた意識を高めることができる。</li> </ul>
<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年生の「市のようすとくらしのうつりかわり」のコラムで、「せんそうのあったころの学校のようす」を取り上げている。学校のくらしのうつりかわりが、よくわかり適切である。</li> <li>○特設ページ「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」は、単元の学習を終えてもっと詳しく調べてみたいことや、気になったことをSDGsと関連付けて取り上げられている。</li> <li>○SDGsと関わったコラムが記載されているとともに、SDGs目標シールがついており、学習に活用することができる。</li> </ul>

## 地図（調査報告書）

### 1. 目標・内容の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「空からまちを見てみよう」では、町を横から、斜めから、上からと、徐々に地図に近づけていく工夫がされており、地図の意味などがわかるように工夫されている。</li> <li>○「地図帳や地球儀を用いて、方位、緯度や経度などによる位置の表し方について扱うこと」（第5学年）について、わかりやすく取り扱われている。</li> <li>○自然災害は、国土の自然条件などと関連して発生していることや、自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることに関連し、見開き3ページで取り扱っている。</li> <li>○冒頭の世界と日本の地図で、世界や日本の様々な事物を紹介し、児童の「何があるんだろう」「地図帳で調べてみたい」という意欲を引き出すよう工夫されている。</li> </ul>
帝国	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地図の世界へようこそ」において、真横から見た学校・ななめ上から見た学校・真上から見た学校と配列し、地図とは何かをていねいに扱っている。さらに「地図のやくそく（1）」で方位、「地図のやくそく（2）」で地図記号、「地図のやくそく（3）」で色（土地利用）を扱うなどていねいである。児童の関心を高め、理解を深める工夫でもある。</li> <li>○地図帳や地球儀を用いて、方位、緯度や経度などによる位置の表し方について、わかりやすい内容で取り扱っている。</li> <li>○「日本の自然災害と防災」について学び、防災マップづくりまで展開しており、児童の興味を引く内容となっている。</li> <li>○日本全国、日本地域図、世界全図、世界大陸別図が取り扱われており、学習に必要な資料が適切に取り上げられている。</li> </ul>

### 2. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界のページにはそれぞれの国の伝統文化や、食文化、自然環境などが大きく取り扱われており、広く世界へと視野を広げるきっかけとなる工夫がされている。</li> </ul>
帝国	<ul style="list-style-type: none"> <li>○視覚的に落ち着いた色彩を用いて、視覚特性に配慮している。</li> <li>○世界の暮らしや文化等の写真から、国際理解について考えることができる。また、北海道の地名について、アイヌ語が紹介されている。</li> </ul>

### 3. 発達段階への配慮

発 行 者	調 査 事 項
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○方位・距離・大きさ・形などきちんとスペースをとって扱っており、発達段階への配慮がされている。</li> </ul>

	<p>○3年生からの使用を見据え、地図の仕組みと約束事をわかりやすく解説されている。 また、児童の負担にならないよう適量な情報量で各ページが構成されている。</p>
帝国	<p>○立体感のある表現であり、イラスト地図で土地利用の様子がよくわかる。 ○地図上の情報が少ないものと多いものに分かれており、児童にとって読みやすい。 また、重要な地名を探しやすい。</p>

#### 4. 組織・配列

発行者	調査事項
東書	<p>○イラスト世界地図、日本地図、各地方図ごとに、「大阪府とそのまわり」「愛知県とそのまわり」「東京都とそのまわり」が配置され、扱いやすい。 ○地図のきまり、地図帳の使い方、広く見渡す地図、都道府県を見る地図、詳しく見る地図、世界地図、資料図、統計索引と順当な配列となっている。</p>
帝国	<p>○地図のやくそく・地図帳の使い方・広く見わたす地図・都道府県を見る地図・詳しく見る地図・世界の地図・資料図・統計索引と、順当な配列となっている。 ○「地図のやくそく」の次に「広く見わたす地図」を置き、その後に「都道府県地図」を置く配列となっている。「広く見わたす地図」でそれぞれの都道府県の特徴がわかり、3年生・4年生・5年生ではその概観をとらえやすくなっている。 ○各地方の主要部について、京阪神、奈良中心部、京都市中心部、自動車産業のさかんな愛知県、東京都とそのまわりなど、イラスト地図となっていて、土地利用の様子がよくわかる工夫がされている。</p>

#### 5. 学び方の工夫

発行者	調査事項
東書	<p>○瀬戸内海にかかる大橋などを配置した表紙は、学習への期待感を生み出す工夫がされている。 ○冒頭の見開き3ページにイラスト世界地図、日本地図が掲載されており、楽しく地図学習に取り組めるように工夫されている。 ○「日本の歴史 世界とのかかわり」を4ページ(P77~80)にわたって展開している。8世紀ごろの日本とアジア、13世紀後半(元の時代)のユーラシア、16世紀ごろ(大航海時代)の世界、19世紀後半の世界(黒船来航のころ)などを取り上げている。日本と世界とのかかわりがわかり、それらの時代における日本の位置が理解できる。</p>
帝国	<p>○イラストで地球儀をイメージしての表紙、楽しい学習を喚起させようと工夫がされている。 ○冒頭に見開き3ページを配して簡略なイラスト世界地図、裏面に日本の領域を3ページ配当し、子どもの日本全体へのイメージを広げようとしている。 ○「ふきだし」の内容が児童のつぶやきになっており、いろいろな観点から学習することを促す工夫がされている。</p>

	○日本の旧国名と年表がリンクしていてわかりやすい。
--	---------------------------

#### 6. 補充的な学習・発展的な学習

発 行 者	調 査 事 項
東書	○「日本の歴史 世界とのかかわり」を4ページにわたって展開している。その中で「明治初期に確定した日本の領土」「第2次世界大戦後の日本の領域」など、領土問題について多角的な見方を育てることもできる。 ○産業や史跡など、学習に関連したアイコンが設けられており、多様な問題解決的な学習に活用しやすいようになっている。
帝国	○食べ物・動物・人物など、児童の興味関心に対応するアイコンが設けられており、多様な問題解決的な学習に活用しやすい配列がなされている。

## 算数（調査報告書）

### 1. 目標・内容の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2年生以上の上巻巻頭に授業開きのページ「学びのとびら」を設定し、主体的・対話的な問題解決の過程を可視化し、体感した上で1年間の学習に入っていくことができるようになってる。</li> <li>○学習したことを日常生活に活用する「いかしてみよう」を設定し、学ぶことの楽しさや意義を実感できるようになっている。</li> <li>○「問題をつかもう（課題設定）」、「自分の考えをかき表そう（自力解決）」、「友だちと学ぼう（話し合い活動）」、「ふり返ってまとめよう（振り返り）」という学習の流れが、現状の学習の流れに近いものである。</li> <li>○毎時間「?（めあて）」が例示しており、児童が学ぶ目的を明確に持ちやすい。</li> </ul>
大日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「問題をつかもう（課題設定）」、「自分で考えよう（自力解決）」、「学び合おう（話し合い活動）」、「まとめよう つかってみよう（活用）」、「ふりかえろう（振り返り）」という学習の流れが、現状の学習の流れに近いものである。</li> <li>○毎時間「めあて」が例示しており、児童が学ぶ目的を明確に持ちやすい。</li> </ul>
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のはじめだけではなく、いろいろな場面で「めあて」が例示されていて、学習の流れの中で自然と児童が学ぶ目的を持てるようになっている。</li> <li>○「めあて」に対応した「まとめ」が、易しい言葉で示しており、児童にわかりやすい。</li> <li>○対話的な学習ができるような場面が、明確になっている。（対話的な学び）</li> <li>○「ふりかえろう・つなげよう」では学習してきたことを活用して問題解決できるような問題が準備されている。（深い学び）</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○数学的な見方・考え方を「つながるミカタ」を示すこと等で、見通しを持ち筋道を立てて、自ら活用していくことができるようになっている。</li> <li>○巻頭では【算数で使いたい見方・考え方】のコーナーを設け、前学年で使った見方や、算数を学ぶ上で大切な考え方を一覧で掲載し、繰り返し参照しながら数学的な見方・考え方を活用できるようになっている。</li> </ul>
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「数学的な見方・考え方」には子どもキャラクターの吹き出しにマーカーを付して価値づけられるようになっている。数学的活動をベースに学習展開が構成されている。</li> <li>○日常の事象における課題や既習内容を問題として取り上げ、数学的活動を通して数理的に処理する技能が身につくようになっている。</li> <li>○「どんな問題かな（課題設定）」、「自分で考えよう（自力解決）」、「みんなで話し合おう（話し合い活動）」、「たしかめよう ふりかえろう（振り返り）」という学習の流れが、現状の学習の流れに近いものである。</li> <li>○毎時間「めあて」が例示しており、児童が学ぶ目的を明確に持ちやすい。</li> </ul>

	○各学期の中間・期末にあたる時期に「復習」が設定されていて、既習単元の復習をすることができる。
日文	○数学的な見方・考え方には紙面に《見方・考え方》として配置し、学習者が見通しを立てたり、筋道を立てて考えたりするための着眼点になっている。 ○単元前には既習事項を確かめる《次の学習のために》を設けている。 ○程よく児童が思考・表現する場面がある。 ○たしかな基礎を身に付けられる有効なつくりになっている。 ○学ぶ楽しみを充実させようとするめあてとまとめが充実している。

## 2. 人権の取扱い

発行者	調査事項
東書	○登場するキャラクターの服を固定的なイメージで性の区別をしないよう配慮されている。活動場面ではそれぞれの役割に偏りがないように配慮されている。 ○登場する男女の数や役割に偏りがないように配慮されている。 ○イラストで登場する子どもが眼鏡をかけていたり、髪の毛を束ねたりピンで留めたり、多様性について考慮されている。
大日本	○登場する男女の数や役割に偏りがないように配慮されている。 ○イラストで登場する子どもが眼鏡をかけていたり、髪の毛を束ねたりピンで留めたり、多様性について考慮されている。 ○イラストで登場する子どもの中に、外国にルーツを持つと思われる子どもがおり、多様性に考慮されている。
学図	○登場する男女の数や役割に偏りがないように配慮されている。 ○イラストで登場する子どもが眼鏡をかけていたり、髪の毛を束ねたりピンで留めたり、多様性について考慮されている。 ○ユニバーサルデザインの観点から色使いやレイアウトなどが配慮されており、サイズも大きめで紙面に余裕がある。
教出	○言葉遣いや服の色など、性別を特定しないように配慮している。また、活動場面における役割分担について、性別で偏りがないように配慮されている。 ○識別しやすい配色、色覚などのカラーユニバーサルデザインとなっている。
啓林館	○イラストで外国にルーツのある子どもや、車いす・眼鏡を使用している子どもなどを掲載し、多様性を認める態度が養えるよう配慮されている。 ○登場するキャラクターを性別で区別しない、固定的なイメージで表現しないよう配慮されている。 ○登場する男女の数や役割に偏りがないように配慮されている。
日文	○男女の役割分担などの既成概念を排除するなど、素材や場面の選定においては、人権面や社会的な性差別を助長することがないように配慮されている。



### 3. 発達段階への配慮

発 行 者	調 査 事 項
東書	<p>○幼児期の教育との関連を図った指導の工夫に関しては、「1年①」は幼児期に親しんだことが多いと推察されるA4判になっている。</p> <p>○スタートカリキュラムの考え方をもとに幼児期に育った数量に関する関心・感覚を想起させるページを設定し、児童の経験から自信をもって算数の学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○文章の記述や分量について、児童の発達段階を考慮した内容になっている。</p> <p>○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。たとえば、単元によっては導入部分で、児童が問題場面をより把握できるような動画が用意されている。また、「1年①」は中綴じで、平らに開くようにされている。</p>
大日本	<p>○文章の記述や分量について、児童の発達段階を考慮した内容になっている。</p> <p>○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。たとえば、単元によっては導入部分で、児童が問題場面をより把握できるような動画が用意されている。また、「1年①」は中綴じで、平らに開くようにされている。</p>
学図	<p>○文章の記述や分量について、児童の発達段階を考慮した内容になっている。</p> <p>○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。たとえば、単元によっては導入部分で、児童が問題場面をより把握できるような動画が用意されている。</p> <p>○漢字の使用では、国語科と関連して支障のないように配慮されている。</p>
教出	<p>○第1学年の算数入門期では、就学前の体験を踏まえ、生活科等との関連を図り、スタートカリキュラムとして扱えるように工夫されている。</p> <p>○第1学年では、単元と単元の間【たしかめもんだい】を設け、発達段階に適した反復練習が行えるようになっている。</p> <p>○タブレット上で操作活動ができるようなデジタルコンテンツが用意されている。</p>
啓林館	<p>○各単元においては児童にとって身近な題材や既習の内容をベースにした導入となっていて、児童の思考の流れに沿った展開になっている。</p> <p>○1年の入門期には、スタートカリキュラム用の別冊「すたあと ぶっく」を用意し、幼児期の体験を生かしながら、スムーズに小学校生活や学習に移行できるようになっている。</p> <p>○文章の記述や分量について、児童の発達段階を考慮した内容になっている。</p> <p>○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。たとえば、単元によっては導入部分で、児童が問題場面をより把握できるような動画が用意されている。また、1年「すたあとぶっく」は中綴じで、平らに開くようにされている。</p>
日文	<p>○1年生が最初に手にする『しょうがくさんすう1①』は絵本仕立てになっていて、幼児期の活動から自然と算数の学習へと移行することができる。</p> <p>○ICT機器を使えるようなアプローチが多い。デジタルコンテンツの使い方が充実している。</p>

#### 4. 組織・配列

発行者	調査事項
東書	<p>○基礎的・基本的な内容をスパイラルに学習することに重点を置き、1つの学期に理解が困難な内容や確実な知識技能の定着が求められる内容が集中しないよう単元の配列が工夫されている。</p> <p>○各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。</p> <p>○年間を通して、各領域を学習できるように配列されている。巻頭のもくじでは、それまでに学習した関連単元も示されている。</p> <p>○生活の中にある算数やこれまでに学習していたことなどについて話し合いながらめあてをつくり、課題解決的に問題に取り組んでいく構成になっている。単元の終わりには「たしかめよう」「つないでいこう算数の目」などが配置され、習熟できる構成となっている。</p>
大日本	<p>○各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。</p> <p>○年間を通して、各領域を学習できるように配列されている。巻頭のもくじでは、それまでに学習した関連単元も示されている。</p> <p>○生活の中にある算数やこれまでに学習していたことなどについて話し合いながらめあてをつくり、課題解決的に問題に取り組んでいく構成になっている。単元の終わりには「たしかめ問題」「読み取る力をのばそう」などが配置され、習熟できる構成となっている。</p> <p>○前年度の復習が単元前にあり、学習に入る前に振り返ることができるようになっている。</p>
学図	<p>○各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。</p> <p>○年間を通して、各領域を学習できるように配列されている。巻頭のもくじでは、それまでに学習した関連単元も示されている。</p> <p>○生活の中にある算数やこれまでに学習していたことなどについて話し合いながらめあてをつくり、課題解決的に問題に取り組んでいく構成になっている。単元の終わりには「できるようになったこと」「まなびをいかそう」「ふりかえろう！」などが配置され、習熟できるようになっている。</p> <p>○1年生の数の学習では10まで、30まで、120までと分け、十進位取り記数法の定着に十分な時間がかけられるようになっている。</p>
教出	<p>○6年生では「文字を使った式」という単元を早い段階で学習することになっておりその後の単元で立式する際に<math>x</math>や<math>y</math>を活用できるようになっている。</p> <p>○単元の終わりには「ふり返ろう」「たしかめよう」などが配置され、習熟できるようになっている。</p>
啓林館	<p>○特に低学年では、児童の興味の持続性を考慮し、同一領域の内容が何単元も連続しないように配慮されている。</p>

	<p>○5年生の「割合」に関する類似内容を複数の単元に分け、習熟の時間が確保できるよう配慮されている。</p> <p>○各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。</p> <p>○年間を通して、各領域を学習できるように配列されている。巻頭のもくじでは、それまでに学習した関連単元も示されている。</p> <p>○生活の中にある算数やこれまでに学習していたことなどについて話し合いながらめあてをつくり、課題解決的に問題に取り組んでいく構成になっている。単元の終わりには「たしかめよう」「ふりかえろう」「やってみよう」などが配置され、習熟できるようになっている。</p>
日文	<p>○3年生や4年生などで、各学年で習熟に時間を要する内容は、できるだけ早期に学習するような配列になっている。</p> <p>○今後の学習につながる素地的内容が多い学年は、単元を分散的に構成し、同じ内容が長い期間続かないようになっている。</p>

## 5. 学び方の工夫

発行者	調査事項
東書	<p>○1年入門期に使用する「1年①」がノートの機能を持たせた構成になっていたり、2年のひっ算の学習のときに数をブロックで表現したりして、10進法が理解しやすくなっている。</p> <p>○15分単位での教科書の活用も見据えて単元導入や単元末、巻末が構成されており、弾力的な時間割構成に対応できるようになっている。</p> <p>○個別最適な学びや協働的な学びについて、それぞれの学びを一体的に充実させるような課題と学び方が設定されている。また、対話を促し、考えが比較できるよう、多くの場面で2人以上の考え方が提示されている。</p> <p>○各単元のはじめを中心に、日常生活や社会の事象を数学化した課題が多く設定されている。また、SDGsについて考えることができる課題も取り扱っている。</p> <p>○さまざまな問題発見・解決の方法が示されるとともに、解決過程や既習事項を振り返って総合的・発展的に考える課題が設定されている。また、その過程の中で、ICTの利活用方法が例示されている。</p>
大日本	<p>○個別最適な学びや協働的な学びについて、それぞれの学びを一体的に充実させるような課題と学び方が設定されている。また、対話を促し、考えが比較できるよう、多くの場面で2人以上の考え方が提示されている。</p> <p>○各単元のはじめを中心に、日常生活や社会の事象を数学化した課題が多く設定されている。また、SDGsについて考えることができる課題も取り扱っている。</p> <p>○さまざまな問題発見・解決の方法が示されるとともに、解決過程や既習事項を振り返って総合的・発展的に考える課題が設定されている。また、その過程の中で、ICTの利活用方法が例示されている。</p>

学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個別最適な学びや協働的な学びについて、それぞれの学びを一体的に充実させるような課題と学び方が設定されている。また、対話を促し、考えが比較できるよう、多くの場面で2人以上の考え方が提示されている。</li> <li>○各単元のはじめを中心に、日常生活や社会の事象を数学化した課題が多く設定されている。また、SDGsについて考えることができる課題も取り扱っている。</li> <li>○導入を、イラスト形式の読み物にすることで、児童がより身近な話題として学習に入っていけるようにしている。</li> <li>○「考え方モンスター」を一覧できるようにすることで、場面に応じた「見方・考え方」を見付けられるようになっている。また、前学年で学んだ学習を領域ごとにふりかえることができるようになっているとともに、どんなところで考え方モンスターを見つけたかがひと目でわかるようになっている。</li> <li>○「算数パトロール隊」では、児童がつまずきやすい内容を課題形式で掲載している。また、継続的な既習事項の反復などを通して、学年間や学年を超えても継続できるような配慮がされている。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教科横断的に取り組める教材を設けている。（英語による数の読み取りなど）</li> <li>○生活の中にある算数やこれまでに学習してきたことなどについて話し合いながらめあてをつくり、課題解決的に問題に取り組んでいく構成になっている。単元の終わりには「ふり返ろう」「たしかめよう」などが配置され、習熟できるようになっている。</li> </ul>
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2・3年生では、数を相対的に着目させたい場面で、児童が個数に着目した相対的な見方ができるように貨幣や紙幣で数が表されている。</li> <li>○各単元の学習に入る前に既習内容を確認する「じゅんび」の問題を用意し、新しい学習に入る前にレディネスチェックができるようになっている。また、日常生活や社会の事象を数学化した課題が多く設定されている。SDGsについて考えることができる課題も取り扱っている。</li> <li>○個別最適な学びや協働的な学びについて、それぞれの学びを一体的に充実させるような課題と学び方が設定されている。また、デジタルコンテンツが随所にちりばめられ（全1614コンテンツ）、子どもたちの興味を喚起し、深い学びを促したり、自宅学習を支援し、個に応じた学びを実現したりできるようになっている。</li> <li>○さまざまな問題発見・解決の方法が示されるとともに、解決過程や既習事項を振り返って総合的・発展的に考える課題が設定されている。また、ICTを活用した単元がある。</li> </ul>
日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○《使ってみよう》や《算数ジャンプ》では学習したことを実生活や新しい学習内容の問題解決にいかせるように工夫されている。</li> <li>○5年の「割合」の学習に向けて、3年以降に「倍」に関する単元を設け、その意味理解を系統立てて進められるように工夫されている。</li> </ul>

6. 補充的な学習・発展的な学習

発 行 者	調 査 事 項
東書	<p>○単元末や巻末に「たしかめよう」や「つないでいこう 算数の目」「ほじゅうのもんだい」「おもしろ問題にチャレンジ」「ふりかえりコーナー」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されている。</p> <p>デジタルコンテンツでは、学習に役立つ情報を得たり、練習問題を行ったりすることができ、練習問題には自動正誤判定機能がある。</p> <p>○「ほじゅうのもんだい」として、2段階のレベルで構成された問題が設置され、各単元の学びの理解を確認することができるようになっている。</p> <p>○オプション教材の「新しい算数+」で、既習事項の復習と、既習事項を活用した発展問題が設定され、個別最適化された学びを実現できるようになっている。</p>
大日本	<p>○単元末や巻末に「たしかめもんだい」や「学んだことを生かそう」「算数たまたばこ」「ふくろう先生になるほど算数教室」「プラス・ワン」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されている。</p> <p>デジタルコンテンツでは、学習に役立つ情報を得たり、練習問題を行ったりすることができ、一部の練習問題には自動正誤判定機能がある。</p> <p>○6年のまとめでは、中学校にむけて習熟を確実にしたい内容が載っている。</p>
学図	<p>○単元末や巻末に「できるようになったこと」「まなびをいかそう」「ふりかえろう!」「算数パトロール隊」「今の自分を知ろう!」「ほじゅう問題」「ふかめよう」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されている。</p> <p>○デジタルコンテンツでは、学習に役立つ情報を得たり、練習問題を行ったりすることができ、一部の練習問題には自動正誤判定機能がある。</p>
教出	<p>○個に応じた指導としてプラスαの話題や発展的な学習内容や選択的に扱える練習問題が準備されている。</p> <p>○学力向上の観点の工夫がされている。間違いやすいところを意図的に取り上げヒントなど出している。</p> <p>○単元末や巻末に「ふり返ろう」「たしかめよう」「算数ワールド」「復習」「算数をつかって考えよう」「学年のまとめ」「ステップアップ算数」「広がる算数」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されている。</p>
啓林館	<p>○「じゅんぴ」で既習事項を確認し、2段階のレベルで構成された「もっと練習」で、単元で学習した学びをふり返り、復習することができるようになっている。</p> <p>○各巻末に「もっと練習」を設け、適宜柔軟に時間を使って補えるようになっている。</p> <p>○単元末や巻末に「学びのまとめ」「学年のまとめ」「復習」「もうすぐ〇年生」「学びのサポート」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されている。デジタルコンテンツでは、学習に役立つ情報を得たり、練習問題を行ったりすることができる。</p> <p>○オプション教材の「新しい算数+」で、既習事項の復習と、既習事項を活用した発展問題が設定され、個別最適化された学びを実現できるようになっている。</p>
日文	<p>○各単元では「直後の練習」、《わかっているかな》、《たしかめよう》のように層を重ね、つまずきの発見につながるようになっている。</p>

	○単元末の《わかっているかな》に、《まちがしやすい問題》を設け、児童がつまずきやすい問題をもう一度確認できるようになっている。
--	---

## 理科（調査報告書）

### 1. 目標・内容の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	<p>○観察、実験などを通して問題解決の力が身につくように、教材が適切に取り扱われている。</p> <p>○巻頭の「理科の学び方」で①問題をつかむ②調べる③まとめるの構成で過程や進め方を示している点や各学年で主に育成をめざす問題解決の力を「のぼそう！理科の力」のマーク等で示している点が優れている。</p>
大日本	<p>○観察、実験などを通して問題解決の力が身につくように、教材が適切に取り扱われている。</p> <p>○巻頭の「理科の学び方」で見つけよう・調べよう・伝えようの構成で過程や進め方を示している点や各学年で主に育成をめざす問題解決の力を巻頭の読み物マンガや「〇年では、特にココ！」で示している点が優れている。</p>
学図	<p>○観察、実験などを通して問題解決の力が身につくように、教材が適切に取り扱われている。</p> <p>○巻頭の「科学の芽を育てよう」で過程や進め方を示している点や各学年で主に育成をめざす問題解決の力を「理科モンスター」（キャラクター）で示している点が優れている。</p>
教出	<p>○観察、実験などを通して問題解決の力が身につくように、教材が適切に取り扱われている。</p> <p>○巻頭の「学習の進め方」で過程や進め方を示している点や各学年で主に育成をめざす問題解決の力を「〇年のチカラ」等のマークで示している点が優れている。</p>
信教	調査できません。
啓林館	<p>○観察、実験などを通して問題解決の力が身につくように、教材が適切に取り扱われている。</p> <p>○巻頭の「理科の楽しみ方」で過程や進め方を示している点や各学年で主に育成をめざす問題解決の力を「見方・考え方マーカ―」により示している点が優れている。</p>

### 2. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	<p>○章、写真、挿絵、図、資料など教材内容が、人権尊重の観点から配慮されている。</p> <p>○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。</p>
大日本	<p>○文章、写真、挿絵、図、資料など教材内容が、人権尊重の観点から配慮されている。</p> <p>○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。</p>

学図	○文章、写真、挿絵、図、資料など教材内容が、人権尊重の観点から配慮されている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォント、レイアウトや図の配色など配慮されている。
教出	○文章、写真、挿絵、図、資料など教材内容が、人権尊重の観点から配慮されている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォント、レイアウトや図の配色など配慮されている。
信教	調査できません。
啓林館	○文章、写真、挿絵、図、資料など教材内容が、人権尊重の観点から配慮されている。 ○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォント、レイアウトや図の配色など配慮されている。

### 3. 発達段階への配慮

発行者	調査事項
東書	○児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。
大日本	○児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。
学図	○児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。
教出	○児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。
信教	調査できません。
啓林館	○児童の発達段階に応じた文の量とわかりやすい表現で記述されている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。

### 4. 組織・配列

発行者	調査事項
東書	○「〇年の理科で学ぶこと」では、領域ごとに単元名と写真が示され、一年間の学習内容が見開きで確認できるよう工夫されている。 ○実験・観察のページでは写真や挿絵等の資料が豊富に用いられており、学習の見通しが持ちやすく非常に優れている。 ○季節に配慮した学習順序になるよう工夫されている。



大日本	<p>○目次では、単元ごとに番号が示され、単元の流れが一覧で確認できるよう工夫されている。</p> <p>○実験・観察のページでは写真や挿絵等の資料が豊富に用いられており、学習の見通しが持ちやすく非常に優れている。</p> <p>○季節に配慮した学習順序になるよう工夫されている。</p>
学図	<p>○「理科の世界をぼうけんしよう」では、内容ごとに単元が明示され、単元の系統性が一覧で確認できるよう工夫されている。</p> <p>○各単元の始めに「できるようになりたい」と身に着けるべき力が書かれ、単元の終わりのページには「できるようになった」で振り返られるように工夫されている。</p>
教出	<p>○実験・観察のページでは写真や挿絵等の資料が豊富に用いられており、学習の見通しが持ちやすく非常に優れている。</p> <p>○前学年で学習した内容が巻頭に一覧で掲載され、学習のつながりが分かりやすいよう工夫されている。</p>
信教	調査できません。
啓林館	<p>○単元導入では、身近な体験や写真資料が取り扱われており、児童の興味・関心を高め疑問や気づいたことなどを引き出し、問題解決学習が行えるよう工夫されている。</p> <p>○季節に配慮した学習順序になるよう工夫されている。</p>

## 5. 学び方の工夫

発行者	調査事項
東書	<p>○デジタルコンテンツや写真、資料などで一人ひとりに応じた学びを進められるとともに、対話的な学びの参考となる発言例やイラスト等が示され、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。学習の進捗にあったデジタルコンテンツを使うことができ、動画に字幕がついている点も優れている。</p> <p>○3年の「つくってあそぼう」や全学年の「広げよう！理科の発想」など学習を生かしたものづくりの設定が工夫されている。</p>
大日本	<p>○デジタルコンテンツや写真、資料などで一人ひとりに応じた学びを進められるとともに、対話的な学びの参考となる発言例やイラスト等が示され、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。</p> <p>○3年の「おもちゃショーを開こう」や全学年の「作ってみよう」など学習を生かしたものづくりの設定が工夫されている。</p>
学図	<p>○デジタルコンテンツや写真、資料などで一人ひとりに応じた学びを進められるとともに、対話的な学びの参考となる発言例やイラスト等が示され、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。</p> <p>○全学年の「やってみよう」など学習を生かしたものづくりの設定が工夫されている。</p>
教出	<p>○デジタルコンテンツや写真、資料などで一人ひとりに応じた学びを進められるとともに、対話的な学びの参考となる発言例やイラスト等が示され、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。デジタルコンテンツにSDGs観点での資料がついている点も優れている。</p>

	○3年の「作って遊ぼう」や全学年の「チャレンジ」など学習を生かしたものづくりの設定が工夫されている。
信教	調査できません。
啓林館	○デジタルコンテンツや写真、資料などで一人ひとりに応じた学びを進められるとともに、対話的な学びの参考となる発言例やイラスト等が示され、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。デジタルコンテンツの動画において、字幕の有無を選択できる点も優れている。 ○3年の「おもちゃランド」、4・5・6年の巻末には「ものづくり広場」など学習を生かしたものづくりの設定が工夫されている。

## 6. 補充的な学習・発展的な学習

発行者	調査事項
東書	○学習で得るべき知識が視覚的にも理解しやすく、得られた知識を定着させるための実験をデジタルコンテンツはわかりやすく説明してくれる点が非常に優れている。また、家庭学習などでデジタルコンテンツも使いやすいよう工夫されている。 ○重要語句については、本文上で下線太字にし、巻末の「1年間をふりかえろう」でも取りあげられている。 ○「広げよう！理科の発想」や「こんなところにも！理科の世界たんけん部」等では、理科の学習が、どのように日常生活や社会と関係があるかを紹介し、理科の有用性を実感できるように工夫されている。
大日本	○単元末の「たしかめよう」や「学んだことを生かそう」や巻末の「まとめ」では、学習した内容を振り返ることができる。 ○重要語句については、本文上で太字にし、巻末の「〇年のまとめ」でも取りあげられている。 ○「学んだことを生かそう」や「サイエンスワールド」等では、学んだことと身近な生活との関わりについて発展的に考えることができる。
学図	○単元末の「ふりかえろう」「できるようになった」や巻末の「理科の世界をふりかえろう」では、学習した内容を振り返ることができる。 ○重要語句については、本文上で太字にし、巻末の「大事な言葉」でも取りあげられている。 ○「活用」の問題や「もっと知りたい」等では、学んだことと身近な生活との関わりについて発展的に考えることができる。
教出	○単元末の「ふり返ろう」「確かめよう」や、巻末の「〇年で学んだこと」では、学習した内容を振り返ることができ問題量が豊富である。 ○重要語句については、本文上で太字にし、黄色の網掛けがされており、巻末さくいの「大事な言葉」でも取りあげられている。 ○「学びを広げよう」や「科学のまど」等では、学んだことと身近な生活との関わりについて発展的に考えることができる。
信教	調査できません。

啓林館	<ul style="list-style-type: none"><li>○単元末の「まとめノート」や「たしかめよう」などで、学習した内容を振り返ることができ問題量が豊富である。</li><li>○重要語句については、本文上で太字にし、単元末の「まとめノート」でも取りあげられている。</li><li>○「活用しよう」では、学んだことと身近な生活との関わりについて発展的に考えることができる。</li></ul>
-----	---

## 生活（調査報告書）

### 1. 目標・内容の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学びを深めるコーナーや学びのプロセスなどが示されており、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。</li> <li>○自分の生活について考えたり、自然に働きかけたりして主体的な学びを通して、表現できるような構成となっている。</li> <li>○「かつどうべんりてちょう」を手がかりにして、技能などを身につけられるよう配慮されている。</li> </ul>
大日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童に自分で考えさせるための工夫がされており、「せいかつことば」のコーナーを設け、表現活動の充実が図れるよう工夫されている。</li> <li>○対話を通して、自分の生活について考える場面が多い構成となっている。</li> <li>○「がくしゅうどうぐばこ」を手がかりにして、技能などを身につけられるよう配慮されている。</li> </ul>
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童による自己決定（見える）、対話（つながる）、ふりかえり（広がる）という構成で活動が展開されている。</li> <li>○全単元を通して、色々な人やものと直接関わる活動や体験を多く取り入れる構成となっている。</li> <li>○「学び方図かん」を手がかりにして、技能などを身につけられるよう配慮されている。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児期からの学びを小学校につなげられるように、スタートカリキュラムを大切にしている構成になっている。</li> <li>○各単元に「なにをかんじたかな」が設けられ、友だちと交流し認め合ったり、振り返って捉え直したりする構成になっている。</li> <li>○「学びのポケット」を手がかりにして、技能などを身につけられるよう配慮されている。</li> </ul>
信教	調査できません。
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ヒントを手がかりにして自ら考え、表現することができ、学びが深まる工夫がされている。</li> <li>○全単元において、導入・展開・振り返りで構成されており、児童の自己決定による体験と、主体的な表現活動が具体的に示されている構成になっている。</li> <li>○「ひろがる せいかつじてん」を手がかりにして、技能などを身につけられるよう配慮されている。</li> </ul>
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動が単発にならず、連続的に深まるように工夫されている。特に、防災教育・安全教育に関する資料の充実に配慮されている。</li> <li>○「がくしゅうずかん」を手がかりにして、技能などを身につけられるよう配慮されている。</li> </ul>

## 2. 人権の取扱い

発行者	調査事項
東書	<p>○写真・挿絵などで、多様な人々のかかわりやふれあいの場面が適切に取り扱われている。</p> <p>○写真には外国の子どもたちが起用され、自然に児童の目につくよう工夫され、挿絵の色調もやわらかく見やすい配慮がなされている。</p>
大日本	<p>○男女のバランスに配慮した工夫がされており、性別による固定観念を持たないよう配慮されている。キャラクターの中に外国の子どもを入れ、多様な人々と関わる活動場面が取り扱われている。</p> <p>○挿絵には外国の子どもたちが起用され、自然に児童の目につくよう配慮されている。</p>
学図	<p>○男女の役割分担に偏りが無い様に配慮したり、バリアフリーなど福祉設備を取り上げたり、身の回りの人への配慮等の工夫がされている。</p> <p>○挿絵に多様な人々と関わる活動場面が取り扱われ、落ち着いた色合いなるよう配慮がなされている。</p>
教出	<p>○多様な人々が描かれており、お互いを尊重して学び合うことを大切に構成となっている。外国の子どもや障がいのある児童が学級の中で一緒に活動したりする様子が多数掲載されていて、自分と異なる立場を尊重するよう配慮されている。</p> <p>○人ではなく「いぐら」という黒色のキャラクターが起用され、人権への配慮がなされている。</p>
信教	調査できません。
光村	<p>○多様な人々が登場する工夫がされており、学校で使う日本語についてQRコードで多国語の音声にも対応している。</p> <p>○身近な幼児や高齢者、障がいのある人との交流などを重視し、多様な人々との関わりのきっかけとなるように写真やイラストが掲載されている。</p>
啓林館	<p>○幼児や高齢者、外国の人、障がいのある方など多様な人々と分け隔てなく関わる様子が適切に取り扱われている。</p> <p>○挿絵には外国の子どもたちが積極的に起用され、自然に子どもたちの目に着くよう配慮がなされている。</p>

## 3. 発達段階への配慮

発行者	調査事項
東書	<p>○紙面のレイアウトが固定され、わかりやすく表示されている。</p> <p>○上巻は幼児期の経験を生かした活動を展開し、下巻は上巻の学びをつなぎ、より探究的に学べ、関わる対象や思いや願いの質など、段階的に高まることを意識した内容になっている。</p>
大日本	<p>○カードやビンゴを活用し、児童が楽しみながら活動を進めることができるよう配慮された内容になっている。</p> <p>○中学年へのつながりを考慮した内容となっている。</p>

学図	○シンプルで見やすい紙面になっており、全ての児童に分かりやすく表現されている。 ○活動や体験の場が、学校周辺から地域へと広げ、内容的な深まりが無理のない形で発達段階に考慮した内容になっている。
教出	○分かりやすい言葉遣いで表現されており、「かんがえまとめいろ」や「はっけんロード」をたどりながら、学習をとらえることができるようになっている。 ○幼児期からの学びを小学校に、「はってん」コラムにより中学年への学びへとつながるよう考慮した内容になっている。
信教	調査できません。
光村	○多様性を大切にし、自己肯定感が育めるようにユニークな文と絵で表現されたコーナーが設けられ、学びのサポートとなっている。 ○幼児期における遊びを通した総合的な学びから、他教科等における学習へ円滑に移行できることを考慮した内容になっている。
啓林館	○小単元名、本文、マーク、カードなどが定位置に固定された紙面作りになっており、全ての児童に分かりやすい構成となっている。 ○「スタートブック」では、幼児期に親しんだ遊びを取り入れた活動から始まり、「ステップブック」によって2年間の生活科の学習を振り返る活動を通して、児童の学びや育ちに考慮した内容になっている。

#### 4. 組織・配列

発行者	調査事項
東書	○2年間で徐々に活動の質を高め、四季の変化を意識しながら生活や学習ができるよう、季節の流れを軸に単元が配列・構成されている。 ○他教科との関連的な指導のヒントなどが掲載されている。 ○各教科等を意識した入学当初の活動が、イラストや写真で示されている。なお、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の記載がある。
大日本	○季節の流れに沿った単元の構成で、活動がスムーズに行えるように工夫されている。 ○個々の活動単元の組み換えが容易にできるように配列・構成されている。 ○横断的・関連的な指導ができるように他教科マークが記載されており、「たのしいよ1ねんせい」には、各教科等を意識した入学当初の活動が、イラストや写真でイメージしやすくなるよう構成されている。
学図	○ストーリー性を持たせた設定やキャラクターの設定など、活動の展開がわかりやすく設定されている。 ○基本1単元1見開き単位で構成され、見開き右下で次の活動へ繋げていく場面が設定され、「はじまるよしょうがっこう」に、各教科等を意識した入学当初の活動が、イラストや写真でイメージしやすくなるよう構成されている。
教出	○気づく、考える、伝える、挑戦するという学習活動の流れがわかりやすい配列となっている。 ○学校から地域へと活動の広がりや諸感覚を使った自然体験から、児童の行動範囲や気づきが広がっていくよう配慮されている。

	○「はじめの いっぽ」に、各教科等を意識した入学当初の活動が、イラストや写真で示され、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の記載がある。
信教	調査できません。
光村	○課題を設定し、活動を行い、振り返るという学習活動の流れがすっきりとわかりやすく示されている本編と、別冊資料「ひろがるせいかつじてん」の分冊で構成されている。 ○「いちねんせいが はじまるよ」に、各教科等を意識した入学当初の活動が、イラストや写真でイメージしやすくなるよう構成されている。
啓林館	○学びのつながりや広がりが見えるよう工夫され、他教科とのつながりや、中学年へのつながりに配慮されている。 ○「すたあとぶっく『がっこうだいすき いちねんせい』」に、各教科等を意識した入学当初の活動が、イラストや写真で示され、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の記載がある。

## 5. 学び方の工夫

発行者	調査事項
東書	○具体的な活動のイメージが持てるように工夫されており、ふりかえりや表現活動が充実している。 ○「やくそく」、「しらべよう」などが、いつも同じ位置に配置されていることや文章はすべて文節で改行されているなどレイアウトと共に多様な学習活動ができるよう工夫されている。
大日本	○児童一人ひとりの興味・関心に合わせて活用できるよう、「がくしゅうどうぐばこ」が掲載されている。 ○気持ちマークの設定により、言語以外の表現方法が取り入れられ、「せいかつことば」を手がかりとして児童の語彙力向上とともに、豊かな表現力の育成を図るよう工夫されている。
学図	○ページの見開きが一つの活動単位となっておりわかりやすく、「ものしりノート」を手がかりとして、次の活動への意欲を高める工夫がされている。 ○單元ごとに異なるキャラクターを設定することで、友だちや周りの人と関わり合いながら変容し成長していく様子がわかりやすく、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。
教出	○各単元に、ヒントが設けられ多様な学習方法で活動できるように工夫されている。 ○「学びのポケット」で他教科との学習をつなげ、教科横断的な学習等の多様な学習ができるよう工夫されている。
信教	調査できません。
光村	○学習展開が一目でわかるよう構成されており、どのように学びを深めていくのかイメージしやすくなっている。

	<p>○六角形の枠で囲まれた学び方の「ヒント」により、児童が学習を進める上での手立てとなるよう工夫されている。また、一人一人の興味・関心に合わせて活用できるよう別冊「ひろがるせいかつじてん」が掲載されている。</p>
啓林館	<p>○ワクワク、生き生き、ぐんぐんという3段階構成で、学びの見通しを持ちながら、深い学びが実現できるように工夫されている。</p> <p>○「めくり言葉」が設定されていることで、活動がとぎれることなく展開できるように工夫されている。</p> <p>○ICT 機器の活用、机のレイアウトを含む場の設定などがイラストで示されており、多様な学習活動ができるよう工夫されている。</p>

## 6. 補充的な学習・発展的な学習

発行者	調査事項
東書	<p>○巻末に「ほんとうのおおきさいきものずかん」がついており、学習活動を具体的な活動になるよう工夫されている。</p> <p>○デジタル生き物図鑑など一人ひとりの興味関心に合わせて活用できるよう二次元コードが豊富に掲載され、自ら学習を発展させ、他の学習や生活に生かすことができるように配慮されている。</p>
大日本	<p>○発展的学習内容が設けられ、上位学年内容についても関連させて扱うことができるようになっている。</p> <p>○自分の考えを書くスペースがあり、自身の活動を振り返ることができる。二次元コードがあるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。</p>
学図	<p>○学び方図鑑、「ものしりのうと」「ものしりずかん」など、資料ページが充実しており学習を発展させることができる。</p> <p>○「もっと♪」のコーナーがあることにより、子どもが自ら学習を発展させ、他の学習や生活に生かすことができるように配慮されている。</p>
教出	<p>○学びのポケットで、他の教科の学習とつなげる工夫や下巻では中学年以降の学習への見通しや期待が持てるように配慮されている。</p> <p>○学習や生活を振り返り、生活上必要な習性や技能の習得を確かなものにするために「何をかんじたかな」が設けられている。</p>
信教	調査できません。
光村	<p>○「ひろがるせいかつじてん」では、それぞれの項目について詳細に説明されており、学習した内容を習得し、児童自身で適切な表現方法を選択できるように配慮されている。</p> <p>○二次元コードにより、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができ、学びを深めることができるよう配慮されている。</p>
啓林館	<p>○三つの図鑑を活用することで、児童の好奇心や探求心が高められる工夫がされている。特に、デジタルたんけんブック（デジタル図鑑）では、120ものコンテンツが掲載されており、児童が一人ひとりそれぞれの興味関心に合わせて活用できるよう配慮されている。</p>



## 音楽（調査報告書）

### 1. 目標・内容の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年の巻頭にある学習マップでは、学習の見通しを示しながら、各題材で学習する内容をイラストや写真で視覚的にわかりやすく解説されている。3年生以上では、「学習の進め方コーナー」を設け、学習の目的や留意点を簡潔に示されている。</li> <li>○「音楽の見方・考え方を働かせながら資質・能力を育む題材」、「生活や社会と音楽との関わりを扱う題材」、「主体的・協働的に表現を楽しむ題材」を4種類に色分けされており、系統性のある内容になっている。</li> <li>○全学年、巻末に、該当学年で学ぶ音符や記号のみが掲載されている。</li> <li>○我が国の伝統的な楽器や民謡、諸外国の音楽などの鑑賞や表現を通して、多様な文化について取り上げられている。</li> </ul>
教芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年の巻頭にある学習マップでは、「歌う」「きく」「えんそうする」「つくる」の4つの領域に、各学年、目標が設定されており、1年間の見通しを持つことができる内容になっている。巻末には学んだことを振り返るページが設けられている。</li> <li>○「何を学ぶか」「何ができるようになるか」が、具体的にわかりやすく示されている。</li> <li>○全学年、巻末に、小学校で学ぶ全ての音符や記号が掲載されている。該当学年で習うもののみ色分けされている。</li> <li>○地域の文化や芸能に興味・関心を持ち、親しみを感じられるように、各地の郷土の祭りや芸能について取り上げられている。</li> </ul>

### 2. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
教出	○多様な児童に使用されるための配慮として、選曲、歌詞、文章、挿絵、図、資料、文字や色など細部にわたり配慮されている。
教芸	○多様な児童に使用されるための配慮として、選曲、歌詞、文章、挿絵、図、資料、文字や色など細部にわたり配慮されている。

### 3. 発達段階への配慮

発 行 者	調 査 事 項
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前の学習を思い出すためのカエルのキャラクターが設定されており、振り返りを促すことができる。</li> <li>○歌唱教材については、音域や長さ、歌詞の内容などが発達段階に即したものになっている。鍵盤ハーモニカやリコーダーについては、新出音など細やかなステップアップで扱われており、発達段階に即した技能の定着に配慮されている。</li> </ul>

	○鑑賞の活動においては、二次元コードから動画などを見ることができ、楽器の音色を味わったり、歌詞の情景を想像したりできる。
教芸	○児童の発達段階に応じて、全学年に「歌いつごう 日本の歌」コーナーが設けてあり、季節ごとの行事等で扱える歌、動物や自然に優しいまなざしを向ける心を育てる歌、日本語の美しさに触れられる歌などが取り上げられている。鍵盤楽器・リコーダーでは、発達段階に即した技能の定着に配慮されている。 ○系統的な題材構成により、子どもたちの発達段階に応じて6年間の学びを積み重ねていくことができる。 ○鑑賞の活動においては、二次元コードから動画などを見ることができ、楽器の音色を味わったり歌詞の情景を想像したりできる。

#### 4. 組織・配列

発行者	調査事項
教出	○学習指導要領の低中高の目標や内容に対応した題材が組織されている。 ○共通事項に関する内容を「音楽のもと」として、紙面右上に表記されている。 ○表現活動と鑑賞活動を効果的に組み合わせることで学習がより深まるよう配列されている。
教芸	○学習指導要領の低中高の目標や内容に対応した題材が組織されている。 ○共通事項に関する内容を右下に表記されている。 ○教材性を生かした多様で効果的な学習が展開できるように挿絵や図、表などを使ってわかりやすく配列されている。

#### 5. 学び方の工夫

発行者	調査事項
教出	○学びナビマークを使って、児童が見通しをもって学習できるように学び方の例示がされている。 ○学びリンクから、動画や資料を見ることができ、児童の興味関心を引き出す工夫がされている。 ○気持ちや体をほぐして授業に入ることができるよう、少しずつ繰り返して行う活動のアイデアが掲載されている。 ○言語活動の流れが分かりやすいように、また、豊かな言語活動ができるように示されている。 ○「音楽づくり」において、文字やイラスト、活動例などが適切に示され、子どもたちが活動の見通しを立てて取り組みやすいものになっている。
教芸	○キャラクターの設定があり、学習活動を展開するための具体的な手立てや活動を発展させるためのヒントが示されている。また、対話的な学びを促す吹き出しがある。 ○二次元コードから、動画や資料を見ることができ、児童の興味関心を引き出す工夫がされている。

	<p>○気持ちや体をほぐして授業に入ることができるように、少しずつ繰り返して行う活動のアイデアが掲載されている。</p> <p>○感じたことや気づいたことを言語化することができるよう書き込み欄を設けられている。</p>
--	---

## 6. 補充的な学習・発展的な学習

発行者	調査事項
教出	<p>○巻末には、「音楽のもと」「音楽を表すいろいろな言葉」「楽器ずかん」などのコーナーが設けられており、随時、関連事項を振り返ることができる。</p> <p>○他教科（国・算・理）と関連する活動や歌を通して外国語に親しむ活動が設けられている。</p> <p>○持続可能な社会のために、音楽を通じて何ができるかを考える機会になるページが設けられている。</p> <p>○折り込みを使ったワイドな紙面で歌詞の内容に沿った写真が掲載されており、曲のイメージが膨らませやすい。</p>
教芸	<p>○巻末には「振り返りページ」や音楽記号の一覧ページなどが設けられており、随時、関連事項を振り返ることができる。</p> <p>○音楽に関わる権利を理解するコラムや音楽と生活や社会とのかかわりを見つめなおすコラム・写真が設けられている。</p> <p>○社会科や総合的な学習との連携を図りやすいように、調べる際の観点や方法が示されている。</p> <p>○各学年、歌唱教材にSDGsにつながる側面をもつ歌詞が採用されている。</p>

## 図画工作（調査報告書）

### 1. 目標・内容の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
開隆堂	<p>○身近な材料を題材に取り上げ、造形的な視点について理解し、形や色、質感などをもとに思いやイメージを広げ、創造的につくったり表したりすることができる内容が系統立てて取り上げられている。</p> <p>○QRコードから利用できる「ひらめきショートチャレンジ」を活用して、楽しみながら造形的な発想の方法を学ぶことができる。</p> <p>○課題をみつけ、試行錯誤しながら材料や方法などを選択し、活動できる題材が設定されている。</p> <p>○吹き出しやコメントに発想や構想、見方を広げるヒントを示し、児童にとってわかりやすい。</p> <p>○言語活動を重視した題材、共同で行うことを意図した題材が多く設定されており、コミュニケーション能力を高め、豊かな情操を培えるよう配慮されている。</p>
日文	<p>○発達段階に応じた身近な材料、感覚や行為を大切にしたい題材、創造的な内容を取り上げ、表現と鑑賞が一体的に学習できるように工夫されている。</p> <p>○課題をみつけ、試行錯誤しながら材料や方法などを選択し、活動できる題材が設定されており、資質・能力の三つの柱の育成が実現できるように工夫されている。</p> <p>○写真や吹き出しを示すことで、児童が発想を広げ、思考力、判断力、表現力などを伸ばしていけるように工夫されている。</p> <p>○生活や社会と豊かに関わる資質・能力を育成するように工夫されている。「友達の作品を見て話そう」など、対話を通して思考力を働かせ、学びを深めることができるように配慮されている。</p>

### 2. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
開隆堂	<p>○人権尊重の観点から、作品例、文章、挿絵、図、資料などが適切に取り上げられている。</p> <p>○多様な人々が造形に関わっている姿を取り上げたり、活躍している美術作家からメッセージとして掲載したりして、キャリア教育に関する内容を取り上げている。</p> <p>○SDGsの取り組みや作品の紹介等、国際交流や福祉、平和教育、多文化共生に関わる内容を扱っている。「みんなのギャラリー」「小さな美術館」では、日本の伝統を十分に味わうように工夫されている。</p> <p>○文字の大きさ、カラーユニバーサルデザインの観点、配色や形状、読みやすい文章表記や適切なふりがな、各図版に図版番号を付すなどの配慮がされている。</p>

	<p>○「かたづけ」、「安全マーク」、「学びの資料」では、用具や材料の基本的な扱い方を写真やイラストで示し、児童の安全や事故防止についての事柄が適切に取り上げられている。</p>
日文	<p>○人権尊重の観点から、作品例、文章、挿絵、図、資料などが適切に取り上げられている。</p> <p>○持続可能な社会の創り手として、環境、地域文化・伝統文化、多文化共生、国際理解、平和・人権、防災・安全に関わる現代的な諸課題が取り上げられている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインの観点からも、コントラストや文字の背景色、写真や図、レイアウトが配慮されている。UDフォントを使用し、学年に合わせて文字の大きさが調整されている。</p> <p>○「気を付けよう」では、用具の安全な使い方や、活動場所の安全を意識することなどを具体的に示している。各巻末の「材料と用具のひきだし」でも、安全に配慮する態度を養うことができるよう工夫されている。</p>

### 3. 発達段階への配慮

発行者	調査事項
開隆堂	<p>○身近な材料を使った題材から、段階的に発想や構想を広げていけるように系統的に題材配列が工夫されており、表現活動と鑑賞を一体的に扱うなど、内容と育てたい力（資質・能力）がバランスよく構成されている。</p> <p>○「タブレットたんまつをつかおう」では、発達段階に応じた活用例を示している。</p> <p>○様々な題材で鑑賞の観点を示した吹き出しが掲載されている。各学年で鑑賞作品と児童の活動が関連して扱われ、継続して造形的な良さや美しさを見つけられる構成になっている。</p> <p>○「小さな美術館」では、鑑賞活動を通して身につけさせたい事項が取り上げられている。</p> <p>○作品へのコメントや吹きだし、目標に対応したキャラクターなどから、児童が形や色など表現につながるイメージを持つことができるようにしている。</p>
日文	<p>○児童の発達段階に応じて、表現と鑑賞を関連付けて学習できるように配慮されており、表現内容と育てたい力（資質・能力）がバランスよく構成されている。</p> <p>○グループ活動など友達と協力して活動することを通して、さまざまな発想や構想などに気づけるような題材設定や、版の特性を生かす題材や粘土を扱う作品を「材料と用具のひきだし」で紹介するなど工夫されている。</p> <p>○多くの題材に観点を示した「鑑賞のヒント」「特に大切なめあてのヒント」が掲載されている。また、「教科書美術館」でも、能動的な表現活動を取り入れ、表現と鑑賞を往還しながら学びを深めることができる。</p> <p>○全身の感覚を使って材料や用具に触れる題材が設定され、形や色に主体的に関わることを促すような写真が多く掲載されている。</p> <p>○児童が題材に出会いイメージを膨らませることができるように、各題材の導入の言葉は形や色からイメージを喚起するような文言になっている。</p>

#### 4. 組織・配列

発行者	調査事項
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1, 2年では、身体性を伴う造形活動や身近な自然や友達との関わりを大切にする教材が多く設定され、今までの体験を元に活動が展開できるように工夫されている。</li> <li>○中学校「美術」への接続では、「未来へつながる図画工作」など、小学校での学びが活かされることが示されている。</li> <li>○発達段階に応じた内容や学習指導要領で扱われる用具・材料などを考慮し、系統的に学びを進められるように配列されている。</li> <li>○作品や活動が見開き2ページで構成されており、「用具・材料」「学習のめあて」「題材名」など、下段には「タブレットたんまつで」「かたづけ」「ふりかえり」「あわせて学ぼう」など、必要な情報がまとまっている。</li> <li>○「みんなのギャラリー」「つながる造形」「あわせて学ぼう」では、教科横断的な学習の手立てとなるよう工夫されているとともに伝統文化や国際理解の一端を紹介している。</li> </ul>
日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1, 2年で、幼児期の知識や経験を活かしながら小学校での学習に入っていけるように配慮されており、幼児期の活動内容に近い題材や、入学当初の児童の特性や発達段階に適した題材を設定している。</li> <li>○5, 6年では、中学校美術科や技術科と関連がある題材が掲載されており、図画工作科での経験を振り返りながら、何を学習してきたのか考え、中学校への学びのつながりを意識できるように工夫されている。</li> <li>○「造形遊びをする」「絵に表す」「立体に表す」「工作に表す」「鑑賞する」の5つの分野で構成し、授業の取材や全国の実践報告を掲載し、発達段階に応じて学びを深められるよう系統的に配慮して配列されている。</li> <li>○各学年1年の流れの中で、行事や季節に応じて題材を選択できるようになっている。ページは活動の流れが順序立てて配列され、見開きで作品や児童の活動の様子が示されている。</li> <li>○他教科と関わりがある題材について、「つながる学び」を示し、関連する内容と結びつけながら教科等横断的な学習ができるように工夫されている。</li> </ul>

#### 5. 学び方の工夫

発行者	調査事項
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学びの資料」でも、形や色などの造形要素、表現技法や材料、用具の知識を示すなど、各題材において多様な活動を示すとともに、表現や鑑賞を交流しながら取り組めるよう構成されている。</li> <li>○キャラクターを用いて、めあてのヒントを示し発想を支援するとともに、吹き出しで表現の工夫や見方の支援をしている。様々な発想の作品を掲載し、多様な表現の可能性を広げることに繋げている。</li> <li>○表現と同じ題材を鑑賞で取り上げており、鑑賞と表現がつながるようにしている。</li> </ul>

	<p>○コミュニケーションや言語活動を重視した題材、共同で行うことを意図した題材が多く設定され、話し合いの観点を提示することでコミュニケーション能力を高めていけるように配慮されている。</p> <p>○造形遊びで表現したものを新たな活動に発展させたり、絵画や工作題材で作った作品を使って発表会をしたりするなど、作品が新たな活動を促す契機となるように工夫されている。</p>
日文	<p>○「材料と用具の引き出し」では、用具の使い方や仕組みの作り方の動画があり、基礎的・基本的な知識・技能の習得を促すとともに、「指導の個別化」を図れるように配慮されている。</p> <p>○「みんなの図工ギャラリー」では、様々な児童の作品を見ることができ、興味・関心に応じて作品を参照したり、集めた情報を発想・行動に生かして学びを深めたりできるように工夫されている。</p> <p>○ICTを活用して美術作品を鑑賞したり、作家の制作活動の様子やインタビュー動画を見たりすることで、表現や鑑賞を交流しながら、「協働的な学び」が実現できる。</p> <p>○「鑑賞のヒント」を用いて、表現と鑑賞を往還しながら学習できる。また、QRコンテンツや3種類の「アートカード」など、楽しみながら鑑賞し表現する方法を促す工夫がされている。</p> <p>○「友達の作品を見て話そう」では、作品や活動を互いに見合い、感じた事や考えた事を伝え合うことで、コミュニケーションや言語活動が充実するよう工夫されている。</p>

## 6. 補充的な学習・発展的な学習

発行者	調査事項
開隆堂	<p>○1, 2年上巻の「わくわくするね」では就学前と小学校の学びをつなぐ工夫がされている。</p> <p>○「小さな美術館」では、発展的な学習の資料として様々な作品を示している。</p> <p>○「つながる造形」「みんなのギャラリー」等では、美術館・町・地域での造形活動やアーティストとの交流、環境を意識した活動など、社会への広がりを示した発展的な学習の紹介をしている。</p> <p>○QRコードからは、用具の使い方の動画、作品の画像などを立体的に見ることができる。</p>
日文	<p>○1, 2年上巻の「ずこうのスタート」では就学前と小学校の学びをつなぐ工夫がされている。</p> <p>○「ともだちのさくひんをみてはなそう」「教科書美術館」では、発展的な学習の資料として様々な作品を示している。</p> <p>○「つながる図工」「広がる図工」では、生活の中の造形物や美術館、地域とのつながり、環境やSDGsなど、社会への広がりを示した発展的な学習の紹介をしている。</p>

	<p>○QRコードからは、用具の使い方の動画、作品の画像、造形作家のインタビューなどを見ることができる。またプログラミングツールを使った活動例も紹介されている。</p>
--	--



## 家庭（調査報告書）

### 1. 目標・内容の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「生活の課題と実践」の取り組みが5つのステップで示されており、生活の中から課題を見つけて取り組むことができるようになっている。</li> <li>○簡単なものから学習をくり返し、スモールステップで経験を積ませることで、基礎・基本を確実に身につけられるようにしている。</li> <li>○SDGsについて特設ページを設け、5, 6年生の環境学習についてつながりを意識して学習できるようにしている。また、環境にかかわる内容については“環境マーク”で示している。</li> <li>○プログラミングについて、食事、掃除、洗濯など複数の作業について、設定されているプログラムの例をいくつも提示されている。</li> </ul>
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各単元の初めに「家庭科の窓」が示されており、見方や考え方の視点を意識して学習が進められるようになっている。</li> <li>○各単元が3つのステップで示されており、問題解決的な学習に取り組めるようになっている。</li> <li>○家庭科室探検のページがあり、家庭科室を使用する前に、家庭科室の使い方について考えさせることができる。</li> <li>○調理実習の単元において、調理の内容だけではなく、マナーや盛り付けについても示されている。</li> <li>○SDGsについて考えられるよう特設ページを設定し、学習内容とSDGsのつながりを意識できるようにしている。</li> <li>○プログラミングについて、食事の内容を中心に設定されているプログラムの例を挙げて説明している。また、プログラミングされた家電を複数紹介している。</li> </ul>

### 2. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食生活に関わる単元では、アレルギーについての注意やアレルギー防止に取り組む人のインタビューが記載しており、安全面への配慮やアレルギーへの理解ができるように工夫されている。</li> <li>○人種、性別、障がいの有無に関わらず、様々な人が写真やイラストで示されており、多様性に配慮されている。</li> <li>○右利き、左利きの調理・製作の写真や動画が掲載されている。</li> <li>○安全防災に関わる内容について、防災マークをつけて示したり、特設ページを設けたりして、意識できるように配慮されている。</li> <li>○カラーユニバーサルデザインを意識し、教科書全体を通して、見やすい配色にしている。</li> </ul>

東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食生活に関わる単元では、アレルギーについての注意が記載してあり、安全面への配慮やアレルギーへの理解ができるように工夫されている。</li> <li>○人種、性別、障がいの有無に関わらず、様々な人が写真で示されており、多様に配慮されている。</li> <li>○安全面で気をつけることが巻頭にまとめてある。また、「○」の場合と「×」の場合で示してあり、比較して考えることができ、わかりやすい。</li> <li>○巻末に右利き、左利きの調理・製作の写真や動画が多数掲載されている。</li> <li>○カラーユニバーサルデザインの観点から、外部の専門家による検証を行い、配色について配慮している。</li> <li>○UD教科書体を採用している。</li> </ul>
----	---

### 3. 発達段階への配慮

発行者	調査事項
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「クローバー」「カラフルうさぎ」という、児童が興味を持つようなキャラクターを使ってポイントを示している。</li> <li>○二次元コードから動画コンテンツを見ることができるので、学習活動をイメージしやすくなっている。</li> <li>○実物大資料があり、大きさのイメージがわからない児童も、大きさの感覚をつかむことができるようになっている。</li> <li>○教科書の紙質が、鉛筆や消しゴムを使う児童の実態に合ったものになっている。</li> </ul>
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童キャラクターを登場させることで、共感しながら学習課題に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>○Dマークから動画コンテンツを見ることができる。また、ポイントについてテロップで示している。</li> <li>○紙質が良く色が鮮やかで、写真が見やすくなっている。</li> </ul>

### 4. 組織・配列

発行者	調査事項
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実習の流れが横一列に提示してあり、学習の流れが理解しやすい。</li> <li>○単元の番号が、5年生も6年生も「1」から始まっていることで、学年の境目が分かりやすくなっている。</li> <li>○「衣生活」「食生活」など、インデックスに項目が書いてあるので、どの項目を学習しているかわかりやすい。</li> <li>○写真が多く使われており、自分の生活と重ねて考えられるようになっている。</li> <li>○ページ下部に、学習内容に関連する言葉が英語とセットで記載してある。</li> </ul>
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○項目ごとに色が分かれているので、どの項目を学習しているかが分かりやすい。</li> <li>○「夏をすずしくさわやかに」「冬を明るく暖かく」を同じ学年で学習する構成になっており、児童の記憶にも残りやすく、比較して考えやすい。</li> </ul>

	<p>○イラストが多く、児童の目を引く内容になっている。</p> <p>○ページ下部に、学習内容に関連する言葉が記載しており、裏面にはその言葉を英訳したものが記載されている。</p>
--	---

## 5. 学び方の工夫

発行者	調査事項
開隆堂	<p>○「話し合おう」という場面が多数設定されており、児童が教え合ったり相談したりしながら主体的に学べるように工夫されている。</p> <p>○単元のはじめに写真やイラストがあり、これからの学習内容がイメージできるようになっている。また、児童への問いかけがあり、自分の課題について考えさせることができる。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びを実現できるように、「気づく・見つける→わかる・できる→生かす・深める」という3つのステップで学びが構成されている。</p>
東書	<p>○「生活を変えるチャンス」が設定されており、日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、学習したことを生かして解決方法を考えさせることができる。</p> <p>○「見つめよう→計画しよう・実践しよう→生活に生かそう・新しい活動を見つけよう」という3つのステップで学びが構成されている。</p>

## 6. 補充的な学習・発展的な学習

発行者	調査事項
開隆堂	<p>○単元ごとに「ふり返り」「これからの生活にどう生かしていくか」を書く欄があり、学習したことを自分の生活にどうつなげていくのかを考えさせることができる。</p> <p>○キャリアインタビューのコメントが多数あり、将来につながる内容になっている。</p> <p>○様々なアイコンやマークを使って、学習している内容と他教科との関連を示している。</p> <p>○47都道府県すべての食文化について示されている。</p>
東書	<p>○キャリアインタビューのコメントが掲載されており、将来につながる内容になっている。</p> <p>○「夏休みワクワクチャレンジ」があり、学習したことを家庭で実践してみる場面を設定している。</p> <p>○アイコンを使って、現在学習している内容がどの学年のどの教科と関連しているかを示している。</p> <p>○「成長の記録」があり、見通しを持って学習ができる。また、各単元のふり返りを一目で見ることができる。</p>

## 保健（調査報告書）

### 1. 目標・内容の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	<p>○保健の見方・考え方を働かせ、課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成することができるように4つのステップで構成されている。</p> <p>○各項の発問は、全編にわたって保健の見方・考え方が働くように構成されている。</p>
大日本	<p>○学習指導要領の目標が達成できるように、各章ごとに導入ページを設けている。学習すべき章全体の目標を明確にするとともに、各小単元の冒頭にそこで学習する課題を明示している。</p> <p>○課題を発見する活動、課題を解決する、学習したことを学習したことを活かす活動など、思考力、判断力、表現力等が総合的に育成されるように配慮している。</p>
大修館	<p>○各学習項目が身近な生活の中から課題をつかみ、学習の見通しをもつ「ステップ1」、学習の課題を解決するための活動「ステップ2」、学習をまとめる「ステップ3」のシンプルな3ステップで構成している。</p> <p>○各章末の「学習をふり返ってみよう」の中で、知識・技能の定着を図るようにしている。</p>
文教社	<p>○生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成できるように各単元は、「Mission」「Stage」「Mission もう一歩先の自分へ」で構成されている。</p> <p>○記述の欄には、課題を解決する過程において思考・判断したことを他者に伝える工夫がされている。</p>
光文	<p>○「みつける」「知る」「生かす」の内容で構成されており、知護・技能を習得できる内容が取り上げられている。</p> <p>○「考えよう」「話し合おう」などで話し合い活動を取り入れており、思考・判断したことを他者に伝える工夫がされている。</p>
学研	<p>○課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して生涯にわたって心身の健康を保持増進するために、資質・能力を育成できるように、各項目を「導入（課題をつかむ）」→「ピース①（自ら取り組む活動）」→「ピース②（対話的活動）」→「ピース③（活用）」で構成している。</p> <p>○課題解決の過程を、①から③までの3つのピースを完成させていく流れとし、個別最適な学びと協働的な学びの実現がしやすい構成としている。</p>

### 2. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	<p>○「個人差」や「自分らしさ」の記載が随所であり、個人の価値を尊重する態度を養うことができるように配慮されている。</p>

	<p>○性別、年齢、国籍、障がい、病気などを超えて関わり合う姿が写真やイラストなどで随所に示されており、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるように配慮されている。</p>
大日本	<p>○児童の日常のなかのできごとと関連させて、ジェンダーについて触れている。</p> <p>○イラストにさまざまな児童が登場している。</p>
大修館	<p>○写真やイラストの登場人物は、男女の役割を固定したり、国籍や障害の有無などに基づく差別や偏見につながったりすることのないように配慮している。</p> <p>○「仲間とのよりよい関係づくり」や「より暮らしやすい社会を目指して」では、様々な人々や自然との関り方の視点から構成し、共生への理解が深まるように配慮している。</p>
文教社	<p>○発達の個人差や男女の社会的性差に対し、偏った捉え方がないように配慮された写真やイラストが掲載されている。</p> <p>○全ての児童にとってわかりやすいように、UDフォントを使用し、文字の大きさ、レイアウトやなど工夫されている。文章・資料など人権尊重の視点から配慮されている。</p>
光文	<p>○文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。また、「さらに広げよう深めよう」では「性」についてのなやみなどが取りあげられている。</p> <p>○すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、UDフォントを使用し、文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。</p>
学研	<p>○体の発育・発達や心の健康を学ぶことを通して、かけがえのない自分に気が付けるようにするとともに、教え合う、学び合う活動により、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度をことができるようにしている。</p> <p>○健康のためには、みんなで助け合い、支え合うことが必要であることを示し、主体的に社会の構成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにしている。</p>

### 3. 発達段階への配慮

発行者	調査事項
東書	<p>○保健の他学年の内容との関連が随所に示されており、系統性のある指導ができるように配慮されている。</p> <p>○学年別配当漢字に配慮しながら、熟語では、できるだけ交ぜ書きをなくす配慮から学習当該学年の1学年上の漢字もふりがなつきで使用されている。</p>
大日本	<p>○学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との連携を総合的に考慮し、適切な単元配列となっている。</p> <p>○文章は児童の発達段階を考慮して、平易でわかりやすい表現にしている。</p>
大修館	<p>○他学年の保健との関連をマークとともに示し、系統性のある指導ができるようにしている。</p> <p>○3ステップのシンプルな学習過程で構成することで、授業の流れが分かりやすくなり、主体的に学習を進めることができるようにしている。</p>

文教社	<p>○見出しや文章は簡潔かつ的確にまとめられ、発達段階に応じてやさしい表現としている。</p> <p>○重要な語句を太字にし、児童が理解しやすいようにしている。</p>
光文	<p>○文章はわかりやすく、簡潔な記述であり、分量とともに児童の発達段階を考慮した内容となっている。</p> <p>○写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。</p>
学研	<p>○保健の見方・考え方を身に付け、働かせることができるように課題解決的な学習過程を重視し、幅広い知識を身に付け、真理を求める態度を養うことができるようにしている。</p> <p>○主体的・対話的な活動を積極的に設定し、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしているとともに、身近な生活における健康についての課題を随所に設定し、健やかな身体を養うことができるように工夫している。</p>

#### 4. 組織・配列

発行者	調査事項
東書	<p>○学習指導要領の配列に合わせて各学年の内容が配列され、各学年とも、学習指導要領に示された内容の所定配当時数内での指導が可能ないように構成されている。</p> <p>○1項目が1単位時間4ページの構成となっており見通しをもって学習できるように配慮されている。例外的に2単位時間扱いになる項目については、項タイトルの近くに「(全2時間)」と明示し、1単位時間の区切りとなる箇所も示されている。</p>
大日本	<p>○教科書全体で、学習指導要領に則り、身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容をわかりやすく、より実践的に学習できるようにしている。</p> <p>○単元の学習内容を学習指導要領の項目に合わせ、1時間の学習内容をまとめているため、時間を問わず指導を行うことができるようにしている。</p>
大修館	<p>○学習指導要領に示された配当授業時数内で学習指導要領の目標及び内容がもれなく指導できるよう、単元を配列し、教材を選定している。</p> <p>○不安や悩みの対処としての「呼吸法」や「体ほぐしの運動」に取り組む活動(実習)に1時間を配当している。また、2時間配当の「生活習慣病の予防」では、児童に身近な「虫歯や歯周病」から学習できるようにしている。</p>
文教社	<p>○すべての学年で目標や内容を踏まえて、教科など横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。系統的な学習が進められるよう配慮されている。</p> <p>○自分自身の生活を振り返る活動が取り入れられており、児童が身近な課題として捉えやすくなっている。</p>
光文	<p>○すべての学年で目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。また、「教科・学年マーク」「はってん」で他学年や他教科等とのつながりが示されており、系統的な学習が進められるよう配慮されている。</p>

	○効果的な指導が行われるよう、写真・挿絵・図・表などが適切に配置されている。学習に関連する役立つ知識を紹介した「まめちしき」等がある。
学研	○学習指導要領の配列に合わせ、各学年の内容を配列している。 ○各学年、学習指導要領で示された配当授業時数内で指導ができるように構成している。 ○1 単元時間 4 ページの基本構成とし、見通しを持って学習できるように配慮している。

## 5. 学び方の工夫

発行者	調査事項
東書	○児童の気づきを引き出すステップ1の次ページに学習の課題が設定されており、自ら課題を発見し主体的に学習に取り組むことができるようになっている。 ○ステップ2・3では、「他の人の意見を聞いて考えたことやわかったことを書く」活動が設定されており、仲間と対話的に課題を解決していくことができるようになっている。 ○ステップ4では、学習したことを自分の生活と関連づけて考える発問が設けられており、生活との関連の重視に配慮されている。
大日本	○巻頭・巻末には保健に関わる内容や夢など将来のことに関して主体的に取り組むたくなるような話題を提供している。 ○児童が新しい学習内容に興味・関心をもてるよう、章の導入に学習ゲームを取り入れるなどしている。 ○見開きごとに、本文で基本的な知識をまとめている。
大修館	○全体を通して健康や安全に関する多様なテーマを取り上げ、幅広い知識と教養を身に付けることができるようにしている。 ○「章とびら」では、アスリートの健康や安全に関する内容を対話形式で取り上げ、児童が学習内容に興味・関心をもって取り組めるように配慮している。また、アスリートの実体験を紹介しスポーツをすることと心の発達との関係を児童が理解しやすいように配慮している。 ○規則正しい生活や生命尊重、相互理解といった道徳教育に関する内容を適所に配列し、豊かな情操と道徳心を培い、健やかな心身を養うことができるようにしている。
文教社	○教科書への書き込みがしやすく、紙が丈夫なためワークシートの活用できる。 ○各学年の巻末には、「わたしの安全宣言」として、学習したこと、理解したことを伝え合うことを通し、思考・判断・表現の力を深め、これからの生活や学習につなげていくという工夫がなされている。
光文	○各単元に設定されたデジタルコンテンツで、児童自らの興味・関心に応じた学びができるとともに、他者に伝える活動を提示することで、対話的な学習となるよう促している。

	<p>○「やってみよう」での体ほぐしの運動や緊張をやわらげる呼吸法、けがの手当てのしかたなど、具体的な体験を通して主体的に学ぶことができるように工夫されている。</p> <p>○各単元が「1 自分の生活をふり返る」「2 学習の課題をつかむ」「3 課題解決にむけて学習活動をする」「4 学習をまとめる」「5 自分の生活に生かす」の学習過程で構成されており、書きこみながら自分の課題を見つけて解決し、学習できるよう工夫されている。</p>
学研	<p>○児童がせりふで語りかける形式を用い、親しみをもちつつ、学習に取り組めるように工夫している。また、担任教師が、進行役（ファシリテーター）となって学習を導く役割をし、児童が主体的に学習する新しい学び方が実現しやすいように工夫している。</p> <p>○養護教諭をはじめ、専門家からのメッセージの形式を用い、児童にとって重要な課題、現代的な課題を説明することで、自らの健康問題を主体的に解決していく力を身に付けることができるように工夫している。</p> <p>○健康の大切さを認識し、ヘルプモーション、共生時代の健康観を身に付けるための教材を盛り込んでいる。</p>

## 6. 補充的な学習・発展的な学習

発行者	調査事項
東書	<p>○「感染症の予防」の項を中心に、感染症に関する豊富な資料やQRコンテンツが使用されている。</p> <p>○各章の扉には、学習内容と関係するSDGsの目標が記載されているとともに特設サイト「SDGsわたしがつくるみらい」を視聴できる二次元コードが付されている。</p>
大日本	<p>○「ミニ知識」や「はってん」などの読み物の資料で、個に応じて学習内容を深めることができるように配慮している。</p> <p>○学習をより理解したり、広げたりすることができるよう、ホームページ上にウェブコンテンツを用意し、対応するページにマークを示している。</p>
大修館	<p>○各学習項目の最後の「まとめ 生かそう 伝えよう」では、学習過程で身に付けた見方・考え方を確認したり、次の学びにつなげたり、実生活や実社会で活用したりすることができるように配慮している。</p> <p>○「学習をふり返ってみよう」を設定し、学んだことを現在や将来の生活に生かすことができるようにしている。</p>
文教社	<p>○「もっと知っところ課」や「もっと考えよう課」では、児童の興味関心をひきつける情報が掲載され、学習意欲を高められるような内容となっている。</p> <p>○注脚の「つぶやきくん」では児童へのメッセージや豆知識が掲載され、より多角的な観点で学習を高められるような内容となっている。</p>
光文	<p>○学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されている。</p>



	<p>○資料として「広げよう、深めよう」「まめちしき」などがある。また、二次元コードから、動画などのデジタルコンテンツが活用できる。「実験」「実習」については、イラストや写真、動画等で確認できるなど技能の習得も工夫されている。</p>
学研	<p>○健康や安全を守る人（キャラクター）を随所に登場させている。</p> <p>○6年の「地域のさまざまな保健活動」の冒頭に、保健に関するさまざまな職業を取り上げている。また、同項目の最後に地域で働く保健師のインタビューを掲載し、児童が自らの将来（キャリア）について考えるための工夫をしている。</p> <p>○「もっと知りたい・調べたい」を設け、学習したことを広げたり、深めたりすることができる資料を豊富に掲載している。</p>

## 英語（調査報告書）

### 1. 目標・内容の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	○中学年や中学校との接続も含めて、5・6年生を通じた学びを見通すことができるCAN-DO リストを「Can-do の樹」として示し、明確な到達点に向かって学習を進めることができる。
開隆堂	○単元の中で、実際に英語を使ってお互いの気持ちや考えを伝え合う言語活動が充実している。単元学習のまとめで、アウトプットとして、「Activity」に尋ね合ったり発表したりする活動が設けられている。 ○児童の発表の様子を収録したモデル動画は、相手に分かりやすく伝えたり、反応したりする方法がイメージしやすい。
三省堂	○児童が日頃から慣れ親しんだ世界の童話など、英語に親しみをもてるよう工夫されている。 ○相づちや発表で気を付けたいこと等、コミュニケーションにおける工夫について扱い、児童が相手意識をもって活動に取り組めるように配慮している。
教出	○話す内容やコミュニケーションを図ることについて気づきや思考を促すコーナーをはじめ、言語活動として友達と関わり合い学び合うペアやグループでの活動を多く設けている。
光村	○英語の歌や絵本が教材として紹介されており、英語に親しむ工夫がされている。 ○誰に何のために伝えるのかという視点で、児童が自ら伝えたいと思えるようなコミュニケーションの目的や場面、状況が明確にされている。
啓林館	○児童が主体的に考えられるように、意味や場面を推測できるようイラスト等が工夫されている。デジタルコンテンツではゴールのイメージをアニメーションで提示するなど工夫されている。

### 2. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	○世界の様々な国の人物や題材が取り上げられ、それぞれの国の良さや違いを感じたり、言語や文化に対する理解を深めたりできる。 ○登場する人物の男女のバランスが偏らないよう配慮されている。
開隆堂	○世界各国の人々が自国の紹介をする動画など、デジタルコンテンツにおいても多文化・異文化理解を図ることができるよう工夫されている。 ○SDGs の目標と解説や日本の取り組み事例をはじめ、登場人物が世界各地を巡ってSDGsについて考えるきっかけとなる物語が掲載されており、今日的な課題にも目を向けられるよう工夫されている。 ○文字の読みやすさ、情報の読み取りやすさ、カラーユニバーサルデザイン等に配慮されている。

三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な国籍や人種の登場人物が描かれている。</li> <li>○車いすバスケットボールといった障がい者に関するトピックや、地雷問題など国際理解・国際協力について学習することができる内容が扱われている。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○色々な立場の人物が取り上げられている。SDGsの観点から環境問題等が取り上げられている。</li> <li>○紙面全体、文字や図版についてカラーユニバーサルデザインの視点に立ち、色の組み合わせや濃淡の工夫、罫線や記号・番号、文字の補助を施すなど、視覚等の特性をふまえ、誰もが見やすい配慮がなされている。</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な考えや価値観を認め合えるように、取り扱う内容や、キャラクターの設定に工夫がされている。</li> <li>○英語を母語としない人々の話す英語を聞くことができる等、「World Englishes」の視点でも動画コンテンツが作成されている。</li> <li>○紙面の文字の大きさについて配慮がされ、児童にとって適切である。</li> </ul>
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人物の人種・性別・身体的特徴のある登場人物が描かれており、そのバランスに偏りがないよう配慮されている。</li> <li>○紙面には性的役割にとらわれない挿絵があるなど、ジェンダーに配慮されている。</li> </ul>

### 3. 発達段階への配慮

発行者	調査事項
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「書くこと」に関する活動が豊富である。語彙・表現集が別冊「My Picture Dictionary」にまとめられており、単語を書き写すときに教科用図書の横に並べて学習を進められる。</li> <li>○デジタル教科書のツールバーが扱いやすく、拡大機能により紙面を自由に拡大できることや、ワークシートの表示・書き込み機能により学習が可視化されるなど、直感的な学習が可能である。</li> </ul>
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出言語材料の分量や提示の仕方は児童の発達段階に考慮されており、その内容が繰り返し提示されて理解・習熟を促すことができる。</li> <li>○別冊の「Word book」は言語材料を理解したり練習したりする活動に取り組みやすい。</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシート等を書く量や語彙数等は児童の発達段階に即した分量である。</li> <li>○各 Unit には文字や音に慣れ親しむ「ABC Fun Box」のコーナーがあり、語彙の定着が図られている。カテゴリ別に語彙が整理されている別冊「My Dictionary」と関連している。</li> <li>○別冊「My Dictionary」の内容はよく精査され、学習した表現や会話が掲載されており児童の伝え合う学習において手掛かりになる。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新出言語材料の分量や提示の仕方について、児童の発達段階を考慮している。</li> <li>○文法用語を使わずに、色や絵を用いて日本語と英語の文構造の違いに気づかせる活動を設けるなど、中学校へ無理なくつながるよう、文構造への気づきを促す活動を盛り込んでいる。</li> </ul>

光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシート等を書く量が適切で、全員が無理なく取り組める量になっている。</li> <li>○Alphabet Time のページが繰り返し盛り込まれ、文字に慣れ親しみ、段階を追って音と文字がつながるよう構成されている。</li> <li>○アルファベットの読み書きの学習が中学校の学習にスムーズに移行できるよう、段階を追って構成されている。また、3. 4年生で親しんだ表現を確認できるページがある別冊の「Picture Dictionary」とリンクしている。</li> </ul>
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○書く活動量が全体的に多く単語の内容が発展的である。</li> <li>○巻末の「Word List」を活用して語彙学習を進めたりふりかえったりすることができる。</li> </ul>

#### 4. 組織・配列

発行者	調査事項
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全単元が「Starting Out→Your Turn→Enjoy Communication→Over the Horizon」の見開き4パート構成かつ1ページ1時間を基本として一貫され、Goalを見据えた学習の流れの見通しがつきやすい。</li> <li>○場面や状況に応じた会話文などのKey sentenceが掲載されている。</li> </ul>
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全単元がほぼ同じ構成の為、見通しがつきやすく、ペアやグループで伝え合う活動が多く配置され、英語を使いながら学ぶ構成になっている。</li> <li>○「聞く」「話す」の活動が多く取り入れられており、「Let's Listen and Read」の活動で、音声で十分慣れ親しんだ英語と文字を結び付け、文字への学習が円滑に接続するよう工夫されている。</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○Unitは児童が自らのゴールを設定し、全体の見通をもって学習を進めることができるように工夫されている。</li> <li>○言語材料は平易なものから段階的に配列され、アウトプットの前に十分にインプットができる構成になっている。</li> <li>○それぞれの教材で1時間の授業が音声から文字へ、練習活動からコミュニケーション活動へとスムーズに流れるように活動が配列されている。</li> <li>○単元構成が大きく3つに分けられており、Unitごとの目標が、児童に理解しやすい。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1年間の学びの見通しが持てるロードマップが示され、中学年の学びを活かし、中学校へのつながりを意識する工夫がなされている。</li> <li>○冒頭で映像を見て、学習内容を見通してから語彙や表現の練習に入るパターンで構成が統一されている。</li> <li>○Sounds and Lettersのコーナーは音と文字との関係に着目して学習を進められる。</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○到達目標「CAN-DO」が巻頭に掲載され、児童に明確に設定されており、見通しをもって学習をすすめることができるように工夫されている。</li> <li>○各単元が「Let's watch、Let's listen、Let's try」という流れでスモールステップを踏みながら、発展的な学習段階では「Let's read、Let's speak」の学習につながっている。</li> </ul>

啓林館	<p>○各 Unit に3つの Step が設けられ、「聞く」「話す」を繰り返しながら、スモールステップで少しずつ積みあがるようになっている。</p> <p>○各 Unit の構成が一定で目標や学習する語句・表現が明示されているため、学習の流れがわかりやすい。</p>
-----	--

## 5. 学び方の工夫

発行者	調査事項
東書	<p>○別冊の My Picture Dictionary が付属されており、語彙・表現集を確認したり、自分が調べた「マイ単語」を記入したりできる。</p> <p>○二次元コードを読み取ることで、語彙や表現を音声で聞くことができるよう工夫されている。</p>
開隆堂	<p>○絵を手掛かりに自分の考えや気持ちを伝える言葉を選べる別冊「Word book」や、児童が学習の積み重ねを実感しながら取り組むことができる巻末の書き込みページなど、主体的な学びが実現できるよう、自分の成長や課題を確かめながら学習に取り組む工夫がなされている。</p>
三省堂	<p>○新しく学習した表現は、その単元以降にも使う機会がスパイラルに設けられており、自分の考えや気持ち伝えるための最も適切な表現を選択する力を養うことができる。</p>
教出	<p>○巻末のワークシートやアクティビティカード等、表現意欲を高める言語活動が豊富に取り扱われている。</p> <p>○目標と振り返りが分かりやすく示されており、学習にどう取り組むとよいかに気づくことができるため、主体的な学びを促し、目標を意識させることができる。</p>
光村	<p>○使いたい語句を簡単に探せるようカテゴリごとに整理して配置された巻末の「Picture Dictionary」は教科用図書本体から取り外し、教科書と並列して使用可能になっている。また、「My 単語」欄は自分が使いたい語句を書き足すことができる。</p>
啓林館	<p>○児童の生活場面に関連した場面や状況が設定されており、当事者として思考し、判断できる構成になっている。</p> <p>○各 Step で慣れ親しんだ語句や表現を使ったミニアウトプット活動が設けられ、友達の発話から相互に学びを深め、協働的な学びができるようになっている。</p>

## 6. 補充的な学習・発展的な学習

発行者	調査事項
東書	<p>○デジタル教材では音声・動画コンテンツが豊富で、モデル動画やチャンツ、童謡、ゲーム等の資料映像が多く、児童が英語に関心を持ちやすい。</p> <p>○6年で、小学校での思い出、将来の夢や中学校でしたいことなどを友だちに伝え合う場面が設定されており、中学校への接続を意識した内容になっている。</p>

開隆堂	<p>○デジタル教科書の童謡やチャンツの動画により、英語のリズムや抑揚が楽しく学習でき、大文字・小文字書の共通点や注意点、英語の音の特徴がわかるコンテンツ等がある。</p> <p>○紙面に掲載された二次元コードを読み取ることで、家庭学習においてもデジタルコンテンツを活用することができる。</p>
三省堂	<p>○教科書に配置された二次元コードから教科書ウェブサイトアクセス可能で、児童一人一人の学習状況や興味関心に応じて学習が進められる。</p> <p>○各活動のモデル動画や活動手順を日本語で丁寧に説明した「活動手順例」により、やり取りや発表のイメージをつかむことができる。</p>
教出	<p>○教科書の二次元コードからアクセスする「まなびリンク」では教科書の Let's sing、Let's Say It Together の音声や、Let's Watch、Activity の動画（一部）が視聴できる。</p> <p>○デジタル教科書の Action! のコーナーでは相手の立場や状況を考えながら自分なりに演じる体験ができる。</p>
光村	<p>○教科書にあるQRコードから 611 点のアニメーションや実写の活動動画、リスニング音声等を自由に視聴できる。</p> <p>○デジタル教科書はチャンツ動画が豊富で、字幕あり・なしやリピート練習、カラオケ用動画があり、個々の学び方に応じて切り替えできる。</p>
啓林館	<p>○デジタル教科書ではジングルやチャンツ、クイズ等のコンテンツをはじめ、GOAL をイメージさせる児童の発表や、やりとり例を視聴できる。</p> <p>○動画等の英語の音声の再生速度を自由に変えたり、「よみあげ」機能で教科書内のほぼ全ての語句等の音声を聞けたりと、自分のペースで学習できる。</p>

## 道徳（調査報告書）

### 1. 目標・内容の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	<p>○教材の冒頭に主題だけが書かれており、内容に先入観なく取り組むことができる。また、終末の「考えよう」や「つながる・広がる」から考えを深め、他教科や生活につなげることができる。</p> <p>○児童が自己投影しやすいような主人公が設定され、自分を振り返る話し合いに進めやすい。</p>
教出	<p>○教材の冒頭から、主題を意識して学習を行い、児童に主体的な学びを促すことができる。また、終末にある多様な仕掛けから考えを深めたり、生活につなげたりすることができる。</p> <p>○先人や偉人の生き方・歴史的な出来事や体験的な学習を取り入れた教材を教材が多く扱われている。</p>
光村	<p>○教材の冒頭にテーマと自己の経験の問いかけが示されており、児童が見通しをもって学習を進められる。また、終末のある「考えよう」「話し合おう」で自分の考えを深めることができる。</p> <p>○定番教材が豊富なことに加え、いじめや情報モラル、環境、共生などの現代的な課題に関する教材やコラムがどの学年にも設けられている。</p>
日文	<p>○教材の冒頭に主題のキーワードと教材のリード文、導入の問いかけが書かれている。また、終末にある多様な仕掛けから考えを深めたり、これからの生活につなげたりすることができる。</p> <p>○教材の冒頭であらすじや主な登場人物について短くまとめられており、見通しをもって教材に入りやすい。また、児童と同年代の主人公設定が多く親しみやすい教材が多い。</p>
光文	<p>○教材の冒頭に主題や発問が示されており、児童が見通しをもちやすくなっている。また、終末にある多様な仕掛けから考えを深めたり、これからの生活につなげたりすることができる。</p> <p>○自己の生き方について、児童が深く考えることができるよう取り計られている。実話に基づく教材や、親しみやすい教材が多く、児童が共感できるよう工夫されている。</p>
学研	<p>○教材の冒頭にキーフレーズが書かれており、教材への安心感をもたせる工夫がなされている。また、終末の「考えよう」から考えを深め、自分を見つめ直すことができる。</p> <p>○自己の生き方について、児童が深く考えることができるよう取り計られている。児童が身近に感じられる主人公が設定され、親しみやすい教材が多い。</p>

## 2. 人権の取扱い

発行者	調査事項
東書	<p>○様々な教材を通して、人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。</p> <p>○挿絵が効果的に使われており、挿絵を大きくして表情がわかりやすくするなどの工夫がなされている。</p>
教出	<p>○様々な教材を通して、人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。</p> <p>○人権意識を持ち人権を尊重する態度が養えるような工夫やLGBTについて考えることのできる教材も設けられている。</p>
光村	<p>○様々な教材を通して、人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。</p> <p>○一人ひとりの違いを認め、お互いを大切にしながら生きていくことが意識できるような教材が設けられている。</p>
日文	<p>○様々な教材を通して、人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。</p> <p>○1年生から一人一人に個性があることを知り、ジェンダー理解へとつなげる教材や人権にかかわる教材が設けられている。</p>
光文	<p>○様々な教材を通して、人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。</p> <p>○登場人物の性別や国籍、ジェンダー・バイアスなどに偏りがないように配慮され、どの児童も自己肯定感をもって取り組めるようになっている。</p>
学研	<p>○様々な教材を通して、人権尊重について認識を深めるとともに、人間としての在り方や生き方について考えを深められるよう配慮されている。</p> <p>○挿絵が効果的に使われており、ジェンダー理解や職業の性差に偏りがないように工夫がなされている。</p>

## 3. 発達段階への配慮

発行者	調査事項
東書	<p>○発達の段階や各学年の特性を鑑みて、授業の焦点をわかりやすくとらえることができる。</p> <p>○いじめ防止の教材が全学年に設定されており、身近な課題を自分との関係において考え、解決しようとする意欲や態度を養うよう配慮されている。</p>
教出	<p>○発達段階に応じて教材の提示が工夫されている。特に写真資料の掲載が多くあり、児童にとってより考えやすいよう配慮されている。</p> <p>○言葉の解説や、情報の補足解説がなされている。</p>
光村	<p>○動物が主人公の物語教材、児童の生活場面の教材、偉人など人物の生き方の教材等を通して、自己の生き方について考えるなど、発達段階に応じて教材の提示が工夫されている。</p>



	○いじめについての教材が重点的に取り扱われている。
日文	○動物が主人公の物語教材、児童の生活場面の教材、偉人など人物の生き方の教材等を通して、自己の生き方について考えるなど、児童にとってより考えやすいよう配慮されている。 ○いじめについての教材が重点的に取り扱われている。 ○道徳ノートが紛失しない工夫がなされている。
光文	○児童の生活場面の教材、伝統や文化の教材、偉人など人物の生き方の教材等を通して、自己の生き方について考えるなど、児童にとってより考えやすいよう配慮されている。 ○いじめについての教材が重点的に取り扱われている。 ○内容項目の4視点のマークがどの学年にとってもわかりやすい。
学研	○動物が主人公の物語教材、児童の生活場面の教材、偉人など人物の生き方の教材等を通して、自己の生き方について考えるなど、児童にとってより考えやすいよう配慮されている。 ○発達段階に応じて教材の提示が工夫されており、表紙が明るくイラストが前向きな印象を与える。

#### 4. 組織・配列

発行者	調査事項
東書	○各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されている。また、各学年において他教科等や現代的な課題等との関連を意識した教材が配置されている。 ○児童が意欲的に考えたり、教材の理解がしやすくなったりするよう、漫画や絵本、各ページの挿絵・写真などが配置されている。
教出	○各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されている。また、各学年において他教科等や現代的な課題等との関連を意識した教材が配置されている。 ○児童が意欲的に考えたり、教材の理解がしやすくなったりするよう、漫画や絵本、各ページの挿絵・写真などが配置されている。
光村	○各学年とも、1年間を3つのまとまりに分け、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されている。また、各学年において他教科等や現代的な課題等との関連を意識した教材が配置されている。 ○児童が意欲的に考えたり、教材の理解がしやすくなったりするよう、漫画や絵本、各ページの挿絵・写真などが配置されている。
日文	○各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されるとともに、複数のふろくが設けられている。また、各学年において他教科等や現代的な課題等との関連を意識した教材が配置されている。 ○児童が意欲的に考えたり、教材の理解がしやすくなったりするよう、漫画や絵本、各ページのリード文・挿絵・写真などが配置されている。

光文	<p>○各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されるとともに、複数の選択教材が設けられている。また、各学年において他教科等や現代的な課題等との関連を意識した教材が配置されている。</p> <p>○児童が意欲的に考えたり、教材の理解がしやすくなったりするよう、漫画や絵本、各ページの挿絵・写真などが配置されている。</p>
学研	<p>○各学年とも、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されている。また、各学年において他教科等や現代的な課題等との関連を意識した教材が配置されている。</p> <p>○児童が意欲的に考えたり、教材の理解がしやすくなったりするよう、漫画や絵本、各ページのキーフレーズ・挿絵・写真などが配置されている。</p>

## 5. 学び方の工夫

発行者	調査事項
東書	○目次がシンプルで見やすく、巻末に考えるためのツールがある。また、道徳の学びについて、「気づく」「考える」「広げる・深める」の流れで進められるよう冒頭に提示されている。
教出	○写真資料の掲載が多く、教材＋コラムの構成で学びを広げるようになっている。また、教科書の後ろに記録のページが付録されており、振り返っての学習がしやすいよう工夫されている。
光村	<p>○考えるためのヒントや考えをまとめるためのヒントが示され、自分の考えを広げ、深める具体的な手立てが示してある。</p> <p>○教科書の巻末に「学びの記録」が付録され、一言での振り返りがしやすいよう工夫されている。</p>
日文	○道徳ノートは、あえて発問を記載しないことで、活用しやすくしている。また、教材ごとに振り返ることができ、これからのに向けた目標設定につなげやすいよう工夫されている。
光文	<p>○考えを整理したりまとめたりするときや話し合いで使える具体的な方法が示され、「考えよう、まとめよう、深めよう」から目的や流れが明確になっている。</p> <p>○教科書の全ページに渡り本文の書体や大きさ行間が統一され、視線の移動の負担が少なくなるよう工夫されている。</p>
学研	<p>○教材の冒頭に主題を提示しないことで児童が主体的に問題意識をもつよう工夫されている。</p> <p>○教科書の全ページに渡り本文の書体や大きさ行間が統一され、視線の移動の負担が少なくなるよう工夫されている。</p>

## 6. 補充的な学習・発展的な学習

発行者	調査事項
東書	○教材の末尾や二次元コードで教材と関連する資料等が示されており、「つながる・広がる」「考えよう」などでは、他教科との関連や日常生活とのつながりなどにつ

	いて考えることによって、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。
教出	○教材の末尾や二次元コードで教材と関連する資料等が示されており、「つなげよう」「深めよう」などでは、他教科との関連や日常生活とのつながりなどについて考えることによって、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。
光村	○教材の末尾や二次元コードで教材と関連する資料等が示されており、「つなげよう」「話し合おう」などでは、他教科との関連や日常生活とのつながりなどについて考えることによって、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。
日文	○教材の末尾や二次元コードで教材と関連する資料等が示されており、「心のベンチ」「見つめよう・生かそう」などでは、他教科との関連や日常生活とのつながりなどについて考えることによって、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。
光文	○教材の末尾や二次元コードで教材と関連する資料等が示されており、「ひろげよう」「へこんでも立ち直る」などでは、他教科との関連や日常生活とのつながりなどについて考えることによって、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。
学研	○教材の末尾や二次元コードで教材と関連する資料等が示されており、「心のパスポート」「考えよう」などでは、教材とつなげて考えたり、日常生活とのつながりなどについて考えることによって、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。